

昭和32年度

事業成績書

水産庁 北海道さけ・ますふ化場

刊 行 の こ と ば

昭和32年度事業成績を取纏めましたので、ここに報告致します。

顧みるに本年度の北洋漁業は、日ソ漁業条約締結第1年目を迎え、漁獲量も10万屯の決定をみて、平和裡に条約が調印され、5月1日勇躍壮途についた。漁は近年にない豊漁にめぐまれ、割当漁獲量の10万屯も、条約による切揚期日を待たずに達成し、例年より1ヶ月も早く切揚となつた。これは北洋鮭鱒資源の豊富なことを意味するものと推察されます。一方本道沿岸の鮭鱒漁業並に産卵群の河川浜上も近年にない豊漁を続け、鮭鱒卵4億6千万粒の採卵成績をあげ事業創始以来最高の輝かしい成果を挙げたことは真に喜ばしい限りであります。

このように海洋、沿岸、河川浜上量が極めて豊漁であつたことの原因については目下調査職員を総動員してこれが究明に努力しているが、総合的な要因については近く発表の機会を得るものと考えます。

なお、事業面においても技術の向上と諸施設及び方法の合理化を図り、一層効率的な事業の運営を期しており、現に電気利用の捕獲方法の採用、孚化施設の立体化等に着手しております。

本書の内容は事業の現状と結果を報告するに止め、これが検討及び批判等については他の機会に譲つたので或は賛意に満たないことも多くあることと思はれるが、宜敷く御叱正賜われれば幸甚と存じます。

昭 和 3 3 年 1 2 月

北海道さけ・ますふ化場長

荒 井 定 治

水産廳 北海道さけ・ますふ化場事業成績書

目 次

1. ま え が き	1
2. 鮭鱒捕獲事業実施体制	1
3. 鮭鱒孵化放流事業実施体制	3
4. 鮭鱒孵化場の予算並に現員	5
5. 昭和32年度鮭鱒漁業の概況	6
6. 鮭増殖事業	6
(1) 鮭増殖事業の概況	6
(2) 鮭増殖事業成績	9
※ 附 表	9
① 支事業場別鮭親魚捕獲採卵成績表	10
② 支事業場別鮭孵化放流成績表	12
③ 海区水系別鮭親魚捕獲採卵成績表	13
④ 海区水系別鮭孵化放流成績表	16
7. 鱒増殖事業	18
(1) 鱒増殖事業の概況	18
(2) 鱒増殖事業成績	21
※ 附 表	21
① 支事業場別桜鱒・樺太鱒親魚捕獲採卵成績表	22
② 支事業場別桜鱒・樺太鱒孵化放流成績表	22
③ 海区水系別桜鱒・樺太鱒親魚捕獲採卵成績表	24
④ 海区水系別桜鱒・樺太鱒孵化放流成績表	28
8. 鮭鱒親魚蓄養成績	30
9. 鮭鱒卵子移植成績	36
10. ひめます増殖事業	44
11. 資料の刊行	46
12. 調査及び試験	46

1. ま え が き

本書は昭和32年度に実施した鮭、桜鱒、樺太鱒、姫鱒の捕獲採卵孵化放流事業の実績と調査試験の結果とを報告するものである。

2. 鮭、鱒捕獲事業実施体制

昭和32年度鮭鱒捕獲採卵事業は、道内61河川82個所の捕獲採卵場において実施された、その実施方法は、従来通り北海道知事及び民間諸団体の委託捕獲を下表の通り併行実施した。

昭和32年度鮭、鱒捕獲事業実施体制（○道委託 △民間委託）

海区	水系別	採卵場名	所属事業場名	実施区分				海区	水系別	採卵場名	所属事業場名	実施区分			
				さ	け	ま	す					さ	け	ま	す
				○	△	○	△					○	△	○	△
オ コ ッ ク 海 区	岩尾	別里	岩尾	別里	別里	別里	別里	○				○			
	斜止	里別	斜止	里別	斜止	里別	斜止	○				○			
	藻網	琴走	藻網	琴走	藻網	琴走	藻網	○				○			
	常	呂	常	呂	常	呂	常	○				○			
	ッ	別	ッ	別	ッ	別	ッ	○				○			
	湧	滑	湧	滑	湧	滑	湧	○				○			
	藻	龍	藻	龍	藻	龍	藻	○				○			
	興	部	興	部	興	部	興	○				○			
	雄	武	雄	武	雄	武	雄	○				○			
	幌	内	幌	内	幌	内	幌	○				○			
日 本 海 区	烈	布	烈	布	烈	布	烈	○				○			
	風	音	風	音	風	音	風	○				○			
	音	標	音	標	音	標	音	○				○			
	德	別	德	別	德	別	德	○				○			
	幌	別	幌	別	幌	別	幌	○				○			
	頓	別	頓	別	頓	別	頓	○				○			
	計							4	10			4	14		
	天	塩	天	塩	天	塩	天	○				○			
	石	狩	石	狩	石	狩	石	○				○			
	ッ	江	ッ	江	ッ	江	ッ	○				○			
日 本 海 区	尻	西	尻	西	尻	西	尻	○				○			
	朱	支	朱	支	朱	支	朱	○				○			
	利	名	利	名	利	名	利	○				○			
	厚	国	厚	国	厚	国	厚	○				○			
	計							6	3			3	2		
	別	寒	別	寒	別	寒	別	○				○			
	釧	阿	釧	阿	釧	阿	釧	○				○			
	茶	音	茶	音	茶	音	茶	○				○			
	ッ	勝	ッ	勝	ッ	勝	ッ	○				○			
	計							4	16			3	10		

海区	水系別	採卵場名	所属事業場名	実施区分				海区	水系別	採卵場名	所属事業場名	実施区分			
				さ	け	ま	す					さ	け	ま	す
				○	△	○	△					○	△	○	△
襟 裳 以 東 海 区	十	勝	別	幕	別	別	別	○				○			
	ッ	面	川	札	内	ッ	ッ	○				○			
	歴	舟	歴	舟	歴	舟	歴	○				○			
	広	尾	広	尾	広	尾	広	○				○			
	計							3	14			1	0		
	幌	元	幌	元	幌	元	幌	○				○			
	三	石	三	石	三	石	三	○				○			
	静	内	静	内	静	内	静	○				○			
	新	冠	新	冠	新	冠	新	○				○			
	計							3	11			0	0		
襟 裳 以 西 海 区	鵠	川	鵠	川	鵠	川	鵠	○				○			
	勇	弘	勇	弘	勇	弘	勇	○				○			
	白	老	白	老	白	老	白	○				○			
	敷	生	敷	生	敷	生	敷	○				○			
	遊	実	遊	実	遊	実	遊	○				○			
	野	田	野	田	野	田	野	○				○			
	落	部	落	部	落	部	落	○				○			
	茂	辺	茂	辺	茂	辺	茂	○				○			
	知	内	知	内	知	内	知	○				○			
	計							3	11			0	0		
総 計												20	54	11	26

鮭、鱒捕獲事業実施体制総括表

海 区	水 系 数	捕 獲 採 卵 場 数	実 施 区 分				備 考
			鮭		鱒		
			道委託	民間委託	道委託	民間委託	
オ コ ッ ク 海 区	17	19	4	10	4	14	
日 本 海 区	6	12	6	3	3	2	
根 室 海 区	16	20	4	16	3	10	
襟 裳 以 東 海 区	8	17	3	14	1	0	
襟 裳 以 西 海 区	14	14	3	11	0	0	
計	61	82	20	54	11	26	

3. 鮭、鱒孵化放流事業実施体制

昭和32年度人工孵化放流事業を実施した河川は54水系で、事業実施個所は、国営孵化場46個所、民営孵化場10個所、計58個所であり、放流された河川名及び事業実施体名を示すと下表の通りである。

昭和32年度鮭、鱒孵化放流事業実施体制

海区	放流水系名	放流事業実施支場名	管轄支場名	民間放流実施体名	魚種	種	海区	放流水系名	放流事業実施支場名	管轄支場名	民間放流実施体名	魚種	種
オ コ ッ ク 海 区	岩尾	別里	岩尾	別里	北見	○	○	頓	別	頓	天塩	○	○
	斜藻	里琴	斜藻	里琴	ッ	○	○	計				11	11
	藻網	琴走	藻網	琴走	ッ	○	○					×2	×2
	常	呂	常	呂	ッ	○	○	天	塩	天	塩	○	○
	ッ	別	ッ	別	ッ	○	○	ッ	寒	ッ	寒	○	○
	湧	滑	湧	滑	ッ	○	○	日	本	日	本	○	○
	藻	龍	藻	龍	ッ	○	○	ッ	寒	ッ	寒	○	○
	興	部	興	部	ッ	○	○	ッ	寒	ッ	寒	○	○
	雄	武	雄	武	ッ	○	○	ッ	寒	ッ	寒	○	○
	幌	内	幌	内	ッ	○	○	ッ	寒	ッ	寒	○	○
日 本 海 区	烈	布	烈	布	天塩	○	○	天	塩	天	塩	○	○
	風	音	風	音	ッ	○	○	ッ	寒	ッ	寒	○	○
	音	標	音	標	ッ	○	○	ッ	寒	ッ	寒	○	○
	德	別	德	別	ッ	○	○	ッ	寒	ッ	寒	○	○
	幌	別	幌	別	ッ	○	○	ッ	寒	ッ	寒	○	○
	頓	別	頓	別	ッ	○	○	ッ	寒	ッ	寒	○	○
	計				ッ	○	○	ッ	寒	ッ	寒	○	○
	天	塩	天	塩	ッ	○	○	ッ	寒	ッ	寒	○	○
	石	狩	石	狩	ッ	○	○	ッ	寒	ッ	寒	○	○
	ッ	江	ッ	江	ッ	○	○	ッ	寒	ッ	寒	○	○

4. 北海道鮭鱒孵化場の予算並びに現員

昭和32年度における国費投入額は109,722,893円でその内訳は次の通りである。

昭和32年度決算額	109,722,893円
水産庁	109,722,893
北海道鮭鱒孵化場	109,685,744
職員俸給	29,919,300
扶養手当	2,301,228
勤務地手当	2,001,227
職員諸手当	8,183,352
職員特別手当	7,240,509
超過勤務手当	2,333,053
常勤労務者給与	4,767,949
職員旅費	2,467,667
庁費	1,992,173
採卵孵化放流費	11,976,697
賃金	3,304,371
事業用機械器具購入費	3,303,839
土地建物借料	5,541,798
各所修繕費	3,225,959
自動車交換差金	780,000
親魚捕獲事業委託費	20,344,622
国有資産所在市町村交付金	37,149
国有資産所在市町村交付金	37,149

鮭、鱒孵化放流事業實施体制總括表

海 区	放 流 水 系 数	孵 化 場 数		計	実 施 区 分		備 考
		国 営	民 営		鮭	鱒	
オコック海区	12	13	0	13	11	11	×2
日 本 海 区	7	12	0	12	10	5	×2
根 室 海 区	9	9	1	10	10	8	
襟 裳 以 東 海 区	8	9	3	12	12	1	
襟 裳 以 西 海 区	17	12	6	18	13	0	×4×1
計	53	55	10	65	55	25	×8×1

(註) ×……休場個所
×……試験の為休業

(現 員)

		事 務 官 (23)	技 官 (89)	雇 員 (21)	定 夫 (3)	合 計 (136)
本	場	13	23	7	1	44
北	見	1	11	2		14
根	室	2	13	2	2	19
十	勝	1	15	4		20
天	塩	2	7	1		10
千	蔵	3	11	4		18
渡	島	1	9	1		11

(33.3.31現在)

5. 鮭 鱒 漁 業 の 概 況

昭和32年度の鮭鱒漁業の概況を見ると、北洋漁業は昨年度と同様16船団 461 隻の独航船という規模で出漁し、昨年度を上廻る60,358千尾（内シロ11,908千尾）の漁獲を見た。今年は例年に比べてベニの大豊漁に見舞れて、シロの漁獲が少なかった事を特徴としている。これは制限漁獲屯数の関係で価格の高いベニの漁獲に主力が注がれたことにもよる。この母船式のシロの漁獲の少いのに反して、沿岸定置、河川浜上数が多かつた事は、北洋漁業との関連性を意味しているものと推定される。

昭和32年度北洋漁業漁獲高

出漁船団数 16 独般船 461隻					
ベにます	しろざけ	ま	す	銀	ます
42,564 t	21,726 t	24,681 t	935 t	95 t	100,001 t
(20,097千尾)	(11,908千尾)	(27,880千尾)	(442千尾)	(31千尾)	(60,358千尾)

昭和32年度北海道沖合、沿岸における漁獲高

さ			ま		
定置	他	48°以南	定置	他	48°以南
1,885,023	2,505,751	3,766	320,796	11,185,477	1,045,098
(2,356,270尾)	(3,132,180尾)	(4,710尾)	(801,960尾)	(27,963,630尾)	(2,612,740尾)
計			計		
4,394,540			12,551,371		
(5,493,160尾)			(31,378,330尾)		

48°以南の鮭鱒流網の漁獲高は昨年の大記録を上廻る豊漁に見舞れた。即ち、鮭約313万尾、鱒約2,790万尾の記録的な数を示した。最後に 鮭鱒定置漁獲は昨年度の大不漁に比べて、平年漁に終わった。一方河川捕獲数は全道で鮭448,223尾、採卵数4億6千万粒、鱒35,627尾、採卵数2千万粒、でさけの採卵数は実に人工孵化事業始まって以来の記録的好成績を示した。

6. 鮭 増 殖 事 業

(1) 鮭増殖事業概況

本年度は親魚捕獲275,000尾、採卵284,936,000粒の計画目標により直営20個所委託54個所において実施した。捕獲においては計画数の162.9% 448,223尾、採卵数において計画数の161.6% 460,547,380粒を示した。

(参考) 事業計画と実績並びに前年度との比較

区 分	昭和32年度			昭和31年度	前年度との 対比 増減
	計 画 数	実 績	達成率		
捕 獲 数	275,111尾	448,223尾	162.9%	182,065増	266,158尾
♀ 使 用 数	109,198	179,445	164.3%	62,184	117,158
採 卵 数	284,936,000粒	460,547,380粒	161.6%	168,127,540	292,419,840粒
運搬害死卵数		26,630,230		7,725,300	18,904,830
収 容 卵 数	276,350,000粒	433,917,150		160,402,240	273,514,910

之を支場別に見ると

(北見支場管内概況)

本年度支場管内の捕獲及び採卵計画は親魚捕獲48,600尾、採卵46,969,000粒として、直営3ヶ所委託8ヶ所において実施し、捕獲において計画数の125.9%、61,217尾、採卵数では計画の117.9%、55,419,020粒で全般的には計画数を上廻つたが、これは網走湧別両河川が計画を遙かに上廻つたため、常呂川と其の他の河川は殆んどが計画に満たなかつた。

(根室支場管内概況)

根室支場管内は鮭親魚87,400尾の捕獲により96,680,000粒の採卵を目標に忠類採卵場が9月1日より捕獲開始したのに続いて順次捕獲に着手した。事業成績は総捕獲数193,450尾、採卵数229,563,160粒で、計画数に対して捕獲数は221.3%、採卵数は237.4%とともに目標を大きく上廻つたが特に捕獲数においては実に戦後最高で、採卵数においては、支場創立以来の驚異的な成績を収めた。この原因について、考えられる事は種々あるが、地域的要因と外洋的要因に分けられ、その総合的資料の分析により推察されるべきものであるが、外洋的要因については資料がないので遺憾乍らこれを除外して地域的要因として次の事が挙げられる。

①海水温が鮭親魚の回遊接岸に極めて適度であつた。

②雨量は8月～12月に亘り917.1mmを示し昨年度同期の460.9mmに比し約2倍又過去4ヶ年の平均より43.7%の増加を示した。就中、鮭親魚の接岸及び河川浜上期の8月～10月にかけて全量の84.6%に当る776mmの雨量があり、このため河水の増量による淡水沖出水帯の長期に亘る大規模な維持は親魚の誘導を極めて有利にした。

根室支場管内降水量調査表

年 度 別	月 別					
	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合 計
本 年 度	mm 326.4	mm 308.1	mm 141.5	mm 33.9	mm 107.2	mm 917.1
前 年 度	191.5	56.3	126.0	55.5	31.6	460.9
過去4ヶ年平均	181.1	150.4	187.1	61.8	57.8	638.2

③後期11月中旬、12月下旬にかけて、例年に比し全般に河水温が高くその例として西別川においては、本年度11月中、下旬の平均水温は4.2℃に12月の平均水温は1.7℃で昨年度に比し、1.7℃、1.2℃又過去4ヶ年の平均にくらべても1.1℃、0.7℃の高温を示した。この原因は

例年になく12月に入り屢々降雨があり、その都度下降を辿っていた水温が急速に上昇した。

西別川（14線捕獲場資料）河水温度調査表

年 度 別	11 月			12 月		
	上	中	下	上	中	下
本 年 度	7.7℃	5.6℃	2.7℃	1.8℃	1.9℃	1.4℃
前 年 度	9.6	3.8	1.2	1.0	0.3	0.2
過去4ヶ年平均	7.3	3.7	2.5	1.5	0.7	0.7

④比較的10月以降に鮭親魚の浜上が見られる伊茶仁川以北各河川の親魚の接岸浜上は風向に影響されることが認められるが、本年は西高東低気圧配置が遅れ北乃至北西の季節風は漁期間中余り吹かず、微風の日が多く各方面より吹き接岸の親魚は分散することなく、前述の好条件と相俟つて活発に浜上し前年度の様な季節風による河口閉塞等の事態が見られなかつた。

（十勝支場管内概況）

十勝支場管内の捕獲採卵は計画数の175.6%の158,031尾、採卵数は計画数の153.6%の148,409,100粒という何れも計画数をオーバーする好成績で、殊に採卵においては、十勝支場始まつて以来の最高成績を示した。この捕獲増の原因としては、回帰増による、資源の増大と共に、各河川共適度の増水、適水温等、鮭親魚浜上に対して好条件に恵まれたためと考えられる。又蓄養施設の改善、蓄養採卵技術の向上も好採卵成績を収め得る原因となつた。

（千才支場管内概況）

千才支場管内における捕獲採卵の本年度目標は25,200尾、18,905,000粒として、13捕獲場において実施したが、捕獲数はその81.8%20,601尾、採卵数は67.2%12,578,650粒と総計においては何れも計画数に達することは、出来なかつたが、音江、西越、元浦河、勇払、敷生では各々目標を超える成績を収めることが出来た。然し管内を通じて捕獲数及び採卵数が目標に到達し得なかつたのは、数量の多い石狩、静内の両捕獲場が盛漁期に増水に合い十分な捕獲が出来なかつたためである。

（渡島支場管内概況）

管内の鮭親魚捕獲計画は、直営4ヶ所、民間委託4ヶ所において、捕獲数11,200尾、採卵数13,454,000粒の計画目標を以つて実施したが、捕獲においては計画数の83.3%に当る9,334尾を、採卵数においては68.6%に当る9,330,400粒の成績を収めた。特に民間委託の茂辺地においては、支場全捕獲数の76.5%に当る7,139尾、採卵数にあつては67%の約620万粒という明治13年開設以来の最高記録を示した。期待した日本海区の厚沢部川は昨年に比較して著るしく減少した。これは河川改修工事のため土砂の流入があり浜上が少かつたものと考えられるが、一時的現象と思はれる。又尻別、冷水の両捕獲は増水により完全な捕獲が出来なかつた。更に遊楽部は河口の移動により浜上が悪かつたものと思はれこれらが目標を下廻らせる要因となつた。

（天塩支場管内の概況）

本年度の鮭の捕獲は4河川5捕獲場をもつて、9月1日より開始された。捕獲事業期間中は各河川共増水による捕獲装置の被害はなかつたが、天塩採卵場は網ウライのため、本川の河川切替工事

による泥土及び泥炭の流下が甚だしく、捕獲のあつた日数37日間の約1/3の12日間は揚網した現状で、他の日数は全部曳網による捕獲であつた。一方美深採卵場を廃止して下流に移転した支場直営採卵場は中川村字富和地先を適地として6月より漁夫舎移築の作業にかかり、捕獲施設は7月中旬より実施し、河巾80間を完全に遮断することに成功した。漁期間中増水のため上簀を倒伏した日が24日の多きに達したのは美深に比し、水深が2.3倍深いため一度増水があれば10日間も冠水していることであつた。以上の如き増水被害の為め天塩川の2採卵場の捕獲数は2,859尾で計画8,500尾に対し33.6%、最近5ヶ年の平均捕獲数7,274尾に比して4,415尾の減少を示した。

オヨック海区の屯別川は9月22日に捕獲着手したが、終了の11月23日迄比較的順調で計画の2,000尾に対し1,932尾を捕獲し、96.6%で終了したが、最近5ヶ年平均値1,697尾に比し235尾の増加を示した。

以上の如く、本年度は渡島、千才、天塩支場管内を除いて、好成績を示したが、その採卵数4億6千万粒の中8割迄が根室、及び襟裳以東海区に遍したため、道内で約1億粒の移殖を行い全道の収容設備を満し、なお余剰卵が出たので、発眼卵として本州8県に下記の通り移殖収容を行つた。

県 名		移 殖 卵 数
青 森		1,207,100粒
秋 田		1,454,000
山 形		7,430,000
新 潟		2,294,000
岩 手		2,496,600
宮 城		495,000
福 島		1,310,000
茨 城		1,020,000
計		17,906,700粒

意を払つた結果運搬害は何れも最少限に止めることが出来最終ふ化率95.5%の好成績を以つて放流されたことは御同慶に堪えない。

(2) 昭和32年度鮭増殖事業成績

①支事業場別鮭親魚捕獲採卵成績

～この表の説明～

事業成績を各支事業場別に見ると、捕獲数は各支場共に、前年度に比べて増加している。又捕獲数が前年度を上廻る好成績にもかかわらず、各支場とも一部の事業場を除いて、全般的に雌使用率も向上している事は落ばしい事である。雌使用率の60%以下を挙げると岩尾別8.7% 十勝支場50.1% 天塩支場56.7% 石狩事業場10.3% 渡島支場55%等があるが之れ等の主なる原因は増水による逃避、斃死等を出したことによるものであるが中には蓄養意慾の不足に起因する個所もあるので、今後この指導監督に一層努力を傾注したい。

尚近年北海道における鮭の浜上が道東方面に遍重しており今後も此の傾向が益々強く固定化する実状にあるが之等の状況に対応出来る様施設の増設、新設、移動と人員の有効配置を実施して例年支払っている移殖運搬の為に生ずる莫大な死卵の発生を防止すべく努力している。

支 事 業 場 別 鮭 親 魚

支場	事業場	捕獲尾数			使用親魚数					
		♀	♂	計	♀	♂	計			
北見	支岩斜藻網湧渚興幌	尾別里琴走別滑部内	3,410	3,079	6,489	2,746	1,213	3,959		
			23	23	46	2	2	4		
			519	440	959	519	256	775		
			533	524	1,057	533	255	788		
			9,816	9,763	19,579	7,166	2,618	9,784		
			14,585	17,534	32,119	11,606	4,168	15,774		
			157	136	293	156	40	196		
			32	55	87	31	15	46		
			268	320	588	262	131	393		
	計	本年 前年	29,343 15,185	31,874 15,451	61,217 30,636	23,021 11,257	8,698 4,120	31,719 15,377		
根室	羅薫伊中計虹浜厚	茶標根 白別仁津別中床	3,878	3,161	7,039	3,569	1,639	5,208		
			16,554	13,128	29,682	15,461	7,592	23,053		
			1,625	1,381	3,006	1,612	763	2,375		
			39,057	46,443	85,500	37,909	18,165	56,074		
			3,017	2,709	5,726	2,969	1,205	4,174		
			30,383	27,736	58,119	28,302	9,913	38,215		
			1,243	1,868	3,111	860	334	1,194		
			587	680	1,267	578	293	871		
			計	本年 前年	96,344 21,992	97,106 26,724	193,450 48,716	91,260 20,141	39,904 7,742	131,164 27,883
	十勝	支太釧鶴阿白藻札大	場田路居寒糠別内棚	33,223	34,145	67,368	16,651	16,371	23,022	
11,381				10,228	21,609	11,052	5,460	16,512		
5,662				5,983	11,645	5,286	2,005	7,291		
3,877				4,025	7,902	3,840	1,960	5,800		
1,487				1,524	3,011	1,369	588	1,957		
1,219				1,933	3,152	1,159	273	1,432		
9,239				10,264	19,503	8,459	2,786	11,245		
7,593				14,154	21,747	6,198	2,345	8,543		
1,059				1,035	2,094	1,043	414	1,457		
計		本年 前年	74,740 37,268	83,291 44,566	158,031 81,834	55,057 23,629	22,202 7,665	77,259 31,294		
天塩	支徳屯	志場別別	1,246	1,613	2,859	707	219	926		
			172	627	799	149	24	173		
			1,072	860	1,932	1,037	363	1,400		
			計	本年 前年	2,490 1,699	3,100 2,141	5,590 3,840	1,893 1,295	606 346	2,499 1,641
千才	支石音敷白勇新静三元幌	場狩江生老払冠内石河別	2,103	3,024	5,127	2,084	1,117	3,201		
			1,986	5,064	7,050	204	0	204		
			936	928	1,864	818	162	980		
			220	283	503	220	125	345		
			153	179	332	139	127	266		
			1,416	1,890	3,306	—	—	0		
			129	213	342	106	70	176		
			779	737	1,516	753	504	1,257		
			37	57	94	27	21	48		
	50	111	161	47	25	72				
94	212	306	69	27	96					
計	本年 前年	7,903 3,573	12,698 5,734	20,601 9,307	4,467 1,870	2,178 922	6,645 2,792			
渡島	支尻朱利厚知遊	場別太別部内部	12	34	46	7	6	13		
			114	129	243	87	91	178		
			15	30	45	10	5	15		
			99	73	172	99	37	136		
			474	448	922	460	231	691		
			2,826	4,452	7,278	2,709	1,323	4,032		
			389	239	628	355	164	519		
			計	本年 前年	3,929 4,202	5,405 3,600	9,334 7,802	3,747 3,969	1,857 1,782	5,604 5,751
			本年度合計		214,749	233,474	448,223	179,445	75,445	254,890
	前年度合計		83,849	98,216	182,065	62,184	22,585	84,769		
比較増減		130.900	135,258	266,158	117,261	52,860	170,121			

捕 獲 採 卵 成 績 表

採 卵 数	收容前死卵数	收 容 卵 数	♀ 親 魚 使用 率	平均採卵数	期 間
6,507,500	134,200	6,373,300	80.5	2,370	9. 1~12.25
5,020	20	5,000	8.7	2,510	10.15~11.13
1,351,300	32,900	1,318,400	100.0	2,604	9.21~12.25
1,600,600	31,100	1,569,500	100.0	3,003	9.12~12.10
18,549,800	1,219,600	17,330,200	73.0	2,589	9. 1~12.20
26,148,600	1,177,900	24,970,700	79.6	2,253	10.21~12.20
443,900	15,500	428,400	99.4	2,846	9.28~12. 5
78,700	6,700	72,000	96.9	2,539	9.21~11. 6
733,600	26,100	707,500	97.8	2,800	9.21~12.10
55,419,020	2,644,020	52,775,000	78.4	2,407	
30,052,045	1,247,340	28,804,700	74.1	2,670	
7,692,340	39,620	7,652,720	92.4	2,155	9.21~12.20
38,250,380	1,756,800	36,493,580	93.4	2,474	9.11~12.16
3,720,890	137,390	3,583,500	99.2	2,308	9. 1~12.16
95,979,540	5,850,570	90,128,970	97.1	2,531	9. 1~12.30
8,041,990	403,090	7,638,900	98.4	2,709	9.10~12.20
71,600,170	6,036,610	65,563,560	92.3	2,530	9. 9~ 1.21
2,451,700	148,600	2,303,100	69.2	2,851	9. 7~11.15
1,825,950	10,840	1,815,110	98.5	3,159	9. 2~11.18
229,562,950	14,383,510	215,179,440	94.7	2,515	
51,080,660	2,320,120	48,760,540	93.8	2,596	
46,737,500	3,197,100	43,540,400	50.1	2,788	9. 4~12.24
27,392,700	1,679,800	25,712,900	97.1	2,473	9.16~12.10
16,787,900	1,509,600	15,278,300	93.4	3,219	10. 3~12.15
12,318,500	338,000	11,980,500	99.0	3,208	10. 3~12. 3
3,923,800	73,900	3,849,900	92.1	2,866	8. 1~11.25
2,973,110	55,310	2,917,800	95.1	2,431	10. 2~12. 8
19,492,500	1,499,000	17,993,500	91.5	2,239	9.11~11.30
15,917,600	797,100	15,120,500	81.6	2,600	9.10~1. 31
2,637,490	53,490	2,584,000	98.4	2,531	10. 1~12.20
148,181,100	9,203,300	138,977,800	73.7	2,691	
68,091,530	3,891,410	64,200,120	63.4	2,882	
1,898,460	51,730	1,846,730	56.7	2,685	9. 1~12.10
314,800	4,900	309,900	86.6	2,112	9.20~11. 4
3,374,700	19,700	3,355,000	96.7	3,254	9.22~11.30
5,587,960	76,330	5,511,630	76.0		
3,632,490	63,570	3,568,920	76.2		
6,325,500	78,500	6,247,000	99.6	3,035	9.10~ 1. 7
568,000	20,500	547,500	10.3	2,784	9. 2~10.24
1,872,900	36,600	1,836,300	87.4	2,290	8.20~11. 4
643,900	8,900	635,000	100.0	2,927	10. 5~12.25
344,970	6,670	338,300	90.8	2,573	9.25~12.31
268,000	3,000	265,000	82.5	2,565	9. 1~ 1.31
2,154,080	25,900	2,128,180	96.7	2,861	10.19~12.13
71,100	600	70,500	73.0	2,861	10.17~12.20
127,200	2,500	124,700	94.0	2,633	10.15~12.17
190,300	1,800	188,500	73.4	2,706	10. 5~12.26
12,565,950	184,970	12,380,980	56.5	2,758	10.11~12.23
4,954,970	87,900	4,867,070	52.4		
22,500	100	22,400	55.0	3,200	9. 5~12.25
204,900	3,700	201,200	76.3	2,355	10. 1~12.15
25,000	0	25,000	66.7	2,500	10. 1~11.30
304,100	100	304,000	100.0	3,072	10. 1~11.30
1,206,000	6,000	1,200,000	97.1	2,622	10.11~12.15
6,310,000	113,300	6,196,700	96.5	2,310	10. 1~12.20
1,157,900	14,900	1,143,000	91.3	3,262	9. 1~12.25
9,230,400	138,100	9,092,300	95.4	2,463	
10,315,000	114,150	10,184,890	94.5	2,599	
460,547,380	26,630,230	433,917,150	83.6	2,565	
168,127,540	7,725,300	160,402,240	74.2	2,704	
292,419,840	18,904,930	273,514,910			

②支事業場別鮭孵化放流成績

～この表の説明～

今年度の孵化成績を支場別に見ると昨年度最低の成績を見た千才支場管内がふ化率93.5%で最優位を占め全般的に良好な成績で平均71%を示した。この原因は石狩事業場を始め西網走、歌登等の孵化条件が悪くなった事業場に対する無理な収容を一時休止すると共に知内、増毛両事業場の収容卵数を水量其他の環境に適應する限度に止め無理な収容を行はなかつた事と水質の急変等による天災的な障害で多量の斃死等の事故が皆無であつた事によるものである。

支、事業場別鮭孵化放流成績表

支場	事業場	収容卵数	死卵数	孵出尾数	孵出率	放流尾数	放流期間		
							自	至	
北見	支岩別里走別部滑内 尾場別里走別部滑内 計	12,470,800	1,466,100	11,004,700	88.2	10,757,000	4.5	4.5	
		6,620,000	769,200	5,860,800	88.4	5,835,800	5.27	6.5	
		8,494,900	319,900	8,175,000	96.2	8,100,000	3.10	5.20	
		6,659,500	496,300	6,163,200	92.6	6,145,000	3.20	5.14	
		7,272,700	997,300	6,275,400	86.3	6,250,000	3.25	5.6	
		19,315,700	2,057,300	17,258,400	89.4	16,920,000	4.1	6.20	
		1,072,000	92,800	979,200	91.3	965,000	4.20	4.30	
		5,428,400	531,800	4,896,600	90.2	4,305,000	3.20	5.30	
		2,585,000	246,300	2,338,700	90.5	2,330,000	4.20	4.25	
	計	本年 前年	69,929,000 28,890,500	6,977,000 2,916,170	62,952,000 25,974,330	90.0 89.9	61,607,800 25,375,180		
根室	支羅伊中計虹浜厚 茶標根 場白別仁津別中床 計	9,660,200	1,564,670	8,095,520	83.8	7,812,200	4.1	6.17	
		8,752,720	565,970	8,186,750	93.5	8,152,000	3.1	6.20	
		17,519,960	3,572,100	13,947,860	79.6	13,331,060	4.28	6.5	
		7,711,500	648,000	7,063,400	91.6	6,992,800	4.20	5.31	
		8,773,700	1,301,900	7,471,800	85.2	7,359,800	4.15	6.20	
		10,588,900	2,143,520	8,445,380	79.8	7,930,000	3.1	4.30	
		50,132,500	5,312,880	44,819,620	89.4	44,108,950	2.1	5.15	
		4,978,100	433,220	4,544,880	91.3	4,300,000	4.28	5.31	
		3,330,110	51,480	3,278,630	98.5	3,213,060	5.1	5.28	
	計	本年 前年	121,447,690 48,760,540	15,593,840 6,312,770	105,853,840 42,463,330	87.2 87.1	103,199,870 41,603,780		
十勝	支太釧鶴阿白幕札大 (音利)尾 場田路居寒嶽別内樹 計	28,795,720	2,205,000	26,590,720	92.3	24,870,000	4.1	5.31	
		6,410,400	590,800	5,819,600	90.8	5,585,300	4.15	5.20	
		29,304,900	3,160,700	26,144,200	89.2	25,693,000	2.24	5.20	
		9,055,500	461,610	8,593,890	94.9	8,533,440	3.10	5.25	
		3,312,400	164,600	3,147,800	95.0	3,112,000	4.1	5.20	
		1,654,000	161,300	1,492,700	90.2	1,480,200	4.21	5.30	
		15,952,900	2,009,900	13,943,000	87.4	13,928,000	2.20	5.20	
		18,847,100	1,450,100	17,397,000	92.3	17,116,510	4.1	5.31	
		3,462,400	302,600	3,159,800	91.3	3,071,500	3.1	4.30	
		726,300	58,410	667,880	92.0	662,000	5.1	5.31	
		611,000	62,500	548,500	89.8	510,000	4.3	4.5	
		計	本年 前年	118,216,620 64,260,120	10,644,520 5,445,350	107,572,097 58,754,770	91.0 91.5	104,616,950 57,358,900	

海 区 水 系 別 鮭 親 魚

海区	水系	支・事業場	採卵場	捕獲尾数			使用親魚		
				計			計		
				♀	♂	尾	♀	♂	尾
オコク海区	岩尾別里走 斜藻網	尾別里走 藻網	尾別里走 藻網	23	23	46	2	2	2
				519	440	959	519		256
				533	524	1,057	533		255
				8,835	8,977	17,812	6,190	2,303	
				981	786	1,767	976		315
				9,816	9,763	19,579	7,166		2,618
				1,530	1,180	2,710	892		515

支場	事業場	収容卵数	死卵数	孵出尾数	孵出率	放流尾数	放流期間	
							自	至
天塩	支(ロクシナイ)寄毛別 名増徳屯	10,192,550	1,043,750	9,148,800	89.8	7,491,000	4.3	6.24
		573,210	59,930	513,280	89.5	487,600	3.30	4.8
		2,934,850	583,790	2,351,060	80.1	2,093,800	4.26	5.6
		2,000,000	191,200	1,808,800	90.4	1,771,900	5.20	6.30
		305,000	33,900	276,100	88.9	204,700	5.9	5.29
		7,929,490	831,690	7,097,800	89.5	6,914,900	3.10	4.30
	計	本年	23,935,100	2,744,260	21,190,840	88.5	18,963,900	
		前年	3,568,920	508,620	3,060,300	85.7	2,440,260	
千才	支音元静(鵜白敷)(伊達)(虻田)(豊浦) 場江河内老生達浦 計	27,484,500	1,940,900	25,543,600	92.9	24,266,000	3.1	5.24
		6,421,300	583,800	5,837,500	90.9	5,528,200	3.10	6.20
		1,948,200	191,000	1,757,200	90.0	1,711,000	2.22	5.12
		7,813,680	347,140	7,466,540	95.5	7,317,300	4.1	5.30
		550,000	21,150	528,850	96.1	569,000	2.1	2.20
		2,653,300	140,420	2,512,870	94.5	2,480,000	2.27	4.29
		2,442,000	129,800	2,312,200	94.5	2,310,000	2.10	4.10
		1,000,000	59,260	940,740	94.0	939,200	1.11	2.18
		1,070,000	52,160	1,017,840	95.0	1,016,500	1.15	1.20
		580,000	19,700	560,300	96.6	559,500	1.17	1.20
		計	本年	51,962,980	3,485,340	48,477,640	93.5	46,696,700
		前年	9,867,070	292,290	4,574,780	94.0	4,451,200	
渡島	遊八尻朱利厚知(茂落) 梁雲別太別部内 計	2,708,200	171,200	2,537,000	93.7	2,513,400	3.20	5.20
		11,513,000	410,600	11,102,400	96.4	11,074,000	4.7	4.20
		1,201,200	187,500	1,013,700	84.4	1,012,500	3.26	5.20
		2,757,500	419,600	2,337,900	84.8	2,297,800	5.1	5.18
		2,209,600	298,000	1,911,600	86.5	1,909,000	2.24	4.30
		2,140,000	84,100	2,055,900	96.0	1,997,700	2.6	3.20
		172,000	8,400	163,600	95.1	162,700	4.15	5.25
		6,020,900	480,800	5,540,100	92.0	5,537,100	2.10	4.21
		19,200	300	18,900	98.4	18,800	3.21	3.31
		計	本年	28,741,600	2,110,500	26,631,100	92.9	26,523,000
		前年	10,194,890	920,060	9,274,830	91.0	9,224,190	
	本年度合計	414,232,990	41,555,460	372,677,520	90.0	361,608,220		
	前年度合計	160,482,040	16,395,260	144,086,780	89.8	140,453,710		
	比較	増減	253,750,950	25,160,200	228,590,740		221,154,510	

③海区水系別鮭親魚捕獲採卵成績

～この表の説明～

鮭捕獲採卵成績を海區別にみると、最高は根室海区で捕獲数 193,450 尾 採卵数229,562,950粒の成績を示した。次いで襟裳以東海区、オコク海区の順である。

採卵場別の雌親魚使用率の60%以下の個所をみると、岩尾別8.7%、天塩52.1%、佐久 59.5%、石狩 10.3%、江別31.3%、東15号50.6%、落部54.5%の各採卵場で、之等の採卵場の蓄養施設及技術の改善は最も重要且つ急を要するものがあるが民間委託の採卵場の中には蓄養採卵意欲の缺除によるものもあるので斯る場所については厳重なる指導を必要とする。

捕獲採卵成績表

数	採卵数	収容前死卵数	収容卵数	♀親魚使用率	平均採卵数	期間
計						
尾	♀	粒	粒	%	粒	
4	5,020	20	5,000	8.7	2,510	10.15～11.13
775	1,351,300	32,900	1,318,400	100.0	2,604	9.21～12.25
788	1,600,600	31,100	1,569,500	100.0	3,002	9.12～12.10
8,493	15,808,400	1,140,700	14,667,700	70.1	2,554	9.1～12.20
1,291	2,741,400	78,900	2,662,500	99.5	2,809	10.15～12.10
9,784	18,549,800	1,219,600	17,330,200	73.0	2,589	9.1～12.20
1,407	2,017,300	89,800	1,927,500	58.3	2,262	9.1～12.10

海 区	水 系		支・事業場		採 卵 場		捕 獲 尾 数			使 用 親 魚	
							♀	♂	計	♀	♂
オ コ シ ク 海 区	常 湧 渚 興 幌 徳 幌 頓 志	呂 別 滑 部 内 別 別 志	北 湧 渚 幌 徳 幌 頓 志	見 呂 別 滑 部 内 別 別 志	端 川 湧 渚 興 幌 徳 幌 頓 計 志	尾 1,880	尾 1,899	尾 3,779	尾 1,854	尾 698	
						3,410	3,079	6,489	2,746	1,213	
						14,585	17,534	32,119	11,606	4,168	
						157	136	293	156	40	
						32	55	87	31	15	
						268	320	588	262	131	
						54	205	259	44	14	
						118	422	540	105	10	
						1,072	860	1,932	1,032	368	
						海 区 計	30,587	33,361	63,948	24,207	9,085
日 本 海 区	天 石 尻 朱 利 厚 沢	塩 狩 々 々 別 太 別 部	天 石 千 音 千 尻 朱 利 厚 沢	塩 狩 才 江 才 狩 別 太 別 部	天 佐 川 石 江 音 西 川 名 作 冷 厚 沢 計	463	778	1,241	241	45	
						783	835	1,618	466	174	
						1,246	1,613	2,859	707	219	
						1,986	5,064	7,050	204	0	
						16	59	75	5	0	
						936	928	1,864	818	162	
						2,087	2,965	5,052	2,079	1,117	
						5,025	9,016	14,041	3,106	1,279	
						114	129	243	87	91	
						15	30	45	10	5	
99	73	172	99	37							
474	448	922	460	231							
海 区 計	6,973	11,309	18,282	4,469	1,862						
根 室 海 区	羅 刈 古 白 丹 別 伊 中 計 根 虹 西 別 中 床	羅 刈 古 白 丹 別 伊 中 計 根 虹 西 別 中 床	羅 刈 古 白 丹 別 伊 中 計 根 虹 西 別 中 床	羅 刈 古 白 丹 別 伊 中 計 根 虹 西 別 中 床	羅 春 植 元 サ キ ム 古 忠 伊 標 仁 津 川 計 春 計 風 別 當 賀	3,663	3,074	6,737	3,373	1,561	
						215	87	302	196	78	
						2,450	1,736	4,186	2,291	1,078	
						4	8	12	3	4	
						2,616	1,975	4,591	2,488	1,231	
						11,464	9,393	20,857	10,659	5,269	
						20	16	36	20	10	
						139	118	257	137	54	
						1,486	1,263	2,749	1,475	709	
						26,638	36,825	63,463	25,738	12,914	
11,063	8,673	19,736	10,867	4,670							
1,356	945	2,301	1,304	581							
39,057	46,443	85,500	37,909	18,165							
2,268	2,138	4,406	2,231	909							
369	284	653	362	135							
380	287	667	376	161							
27,323	26,378	53,701	25,242	8,875							
3,060	1,358	4,418	3,060	1,038							
30,383	27,736	58,119	28,302	9,913							
1,243	1,868	3,111	860	334							
587	680	1,267	578	293							
海 区 計	96,344	97,106	193,450	91,260	39,904						
襟 裳 以 東 海 区	別 釧 阿	寒 路 寒	牛 田 辺 路 居 路 寒	太 田 寒 辺 路 居 路 寒	仮 大 牛 茅 雪 川 計 寒	11,011	9,865	20,876	10,682	5,290	
						370	363	733	370	170	
						11,381	10,228	21,609	11,052	5,460	
						5,662	5,983	11,645	5,286	2,005	
						3,877	4,025	7,902	3,840	1,960	
						9,539	10,008	19,547	7,126	3,965	
1,487	1,524	3,011	1,369	588							

数	採 卵 数	収容前死卵数	収 容 卵 数	♀親魚 使用率	平 均 採 卵 数	期 間
計						
2,552	4,490,200	44,400	4,445,800	98.6	2,422	9.11~12.25
3,959	6,507,500	134,200	6,373,300	80.5	2,370	9.1~12.25
15,774	26,148,600	1,177,900	24,970,700	79.6	2,253	10.21~12.20
196	443,900	15,500	428,400	99.4	2,846	9.28~12.25
46	78,700	6,700	72,000	96.9	2,539	9.21~11.6
393	733,600	26,100	707,500	97.8	2,800	9.21~11.10
58	113,200	700	112,500	81.5	2,573	9.20~11.4
115	201,600	4,200	197,400	89.0	1,920	9.25~11.4
1,400	3,374,700	19,700	3,355,000	96.7	3,254	9.22~11.30
33,292	59,108,520	2,668,620	56,439,900	79.1	2,442	9.1~12.25
286	737,780	5,310	732,470	52.1	3,091	10.15~11.16
640	1,160,680	46,420	1,114,260	59.5	2,431	9.1~12.10
926	1,898,460	51,730	1,846,730	56.7	2,685	9.1~12.10
204	568,000	20,500	547,500	10.3	2,784	9.1~10.24
5	15,300	300	15,000	31.3	3,060	9.10~10.31
980	1,872,900	36,600	1,836,300	87.4	2,290	8.20~11.14
3,196	6,310,200	78,200	6,232,000	99.6	3,035	9.10~1.11
4,385	8,766,400	135,600	8,630,800	61.8	2,822	8.20~1.11
178	204,900	3,700	201,200	76.3	2,355	10.1~12.15
15	25,000	0	25,000	66.7	2,500	9.21~10.31
136	304,100	100	304,000	100.0	3,072	10.1~11.30
691	1,206,000	6,000	1,200,000	97.0	2,622	10.11~12.15
6,331	12,404,860	197,130	12,207,730	64.1	2,776	
4,934	7,216,200	35,980	7,180,220	92.1	2,139	10.12~12.20
274	476,140	3,640	472,500	91.2	2,429	9.21~11.30
3,369	5,389,910	243,850	5,146,060	93.5	2,353	9.11~12.13
7	7,650	210	7,440	75.0	2,550	10.11~12.3
3,719	6,248,180	334,680	5,913,500	95.1	2,511	9.13~12.10
15,928	26,558,020	1,176,440	25,381,580	93.0	2,492	9.22~12.16
30	46,620	1,620	45,000	100.0	2,331	10.26~12.3
191	347,420	4,920	342,500	98.6	2,535	9.1~11.30
2,184	3,373,470	132,470	3,241,000	99.3	2,287	10.1~12.16
38,652	64,867,270	4,813,660	60,053,610	96.5	2,352	9.8~12.25
15,537	28,012,650	864,590	27,148,060	98.2	2,578	9.19~12.30
1,885	3,099,620	172,320	2,927,300	96.2	2,377	10.1~12.25
56,074	95,979,540	5,850,570	90,128,970	97.1	2,532	9.8~12.30
3,140	6,064,380	341,880	5,722,500	98.4	2,718	9.10~12.20
497	992,110	47,610	944,500	98.1	2,741	9.10~12.5
537	985,500	13,600	971,900	99.0	2,621	9.10~12.10
34,117	63,090,970	5,724,710	57,366,060	92.4	2,499	9.10~1.25
4,098	8,509,190	311,690	8,197,500	100.0	2,781	9.21~11.20
38,215	71,600,160	6,036,600	15,563,560	93.2	2,530	9.10~1.25
1,194	2,451,700	148,600	2,303,100	69.2	2,851	9.7~11.15
871	1,825,950	10,840	1,815,110	98.5	3,159	9.2~11.18
131,164	229,562,950	14,383,510	215,179,440	94.7	2,519	9.1~1.25
15,972	26,419,200	1,646,300	24,772,900	97.0	2,472	9.10~12.10
540	973,500	33,500	940,000	100.0	2,631	9.21~11.15
16,512	27,392,700	1,679,800	25,712,900	97.1	2,479	9.10~12.10
7,291	17,015,900	1,509,600	15,506,300	93.4	3,219	10.9~12.16
5,800	12,318,500	338,000	11,980,500	99.1	3,208	10.3~12.3
13,091	29,334,400	1,847,600	27,486,800	95.7	3,214	10.3~12.16
1,957	3,923,800	73,900	3,849,900	92.1	2,866	8.1~11.22

海 区	水 系	支・事業場	採 卵 場	捕 獲 尾 数			使 用 親 魚			
				♀	♂	計	♀	♂		
襟 裳 以 東 海 区	茶音十ノ川	路別勝	白十ノ川 幕札幕札 十勝川 計	糠勝別内別内 計	尾	尾	尾	尾	尾	
					954	1,513	2,467	921	217	
					265	420	685	238	56	
					10,482	13,798	24,280	0	0	
					22,741	20,347	43,088	16,651	6,377	
					1,190	2,127	3,317	602	176	
					1,065	2,092	3,157	748	204	
					419	440	859	373	115	
					7,630	7,697	15,327	7,484	2,495	
					5,242	9,986	15,228	4,468	1,817	
1,286	2,076	3,362	982	324						
			50,055	58,563	108,618	31,308	11,502			
歴広	舟尾	大ノ	樹	歴広	舟尾	1,024	998	2,022	1,008	395
						35	37	72	35	19
海 区 計					74,740	83,291	158,031	55,057	22,202	
襟 裳 以 西 海 区	幌元三ノ川	浦新鵲	別川石内冠川 私老生部追部地内	元三ノ川 浦新鵲 私老生部追部地内	94	212	306	69	27	
					50	111	161	47	25	
					37	57	94	27	21	
					779	737	1,516	753	504	
					103	99	202	85	58	
					26	114	140	21	12	
					1,416	1,890	3,306	0	0	
					153	179	332	139	127	
					220	283	503	220	125	
					389	239	628	355	164	
1	12	13	1	0						
11	22	33	6	6						
2,780	4,359	7,139	2,688	1,300						
46	93	139	41	23						
海 区 計					6,105	8,407	14,512	4,452	2,392	
本 前 比	年 年 較	度 度	合 合	計 計	214,749	233,474	448,223	179,445	75,445	
					83,849	98,216	182,065	62,184	22,585	
					130,900	135,258	266,158	117,261	52,860	

④海区水系別鮭孵化放流成績

～この表の説明～

海區別に放流数を見ると根室海区が103,199,870尾の全道最高量放流を示した。次いで襟裳以東海区、オコツク海区の順である。こゝで特記すべき事は民間ふ化場の孵化成績が床丹の67.6%ふ化率を除いて、全ふ化場90%以上の好成績を示し民間ふ化技術のめざましい向上を示している。

海区水系別鮭孵化放流成績表

海区	水 系	事 業 場	収容卵数	死 卵 数	孵出尾数	孵出率	放流尾数	放流期間 自 至
オコツク海区	岩尾別	岩尾別	尾	尾	尾	%	尾	
			6,630,000	769,200	5,860,800	88.4	5,835,800	5.27～6. 5
			8,494,900	319,900	8,175,000	96.2	8,100,000	3.25～5.20
			6,659,500	496,300	6,163,200	92.6	6,145,000	3.20～5.14
			7,272,700	997,300	6,275,400	86.3	6,250,000	3.25～5. 6
			12,470,800	1,466,100	11,004,700	88.2	10,757,000	4. 5～4. 5
			19,315,700	2,057,300	17,258,400	89.4	16,920,000	4. 1～6.20
			5,428,400	531,800	4,896,600	90.2	4,305,000	3.20～5.20
			1,072,000	92,800	979,200	91.3	965,000	4.20～4.20
			2,585,000	246,300	2,338,700	90.5	2,330,000	4.20～4.25

数 計	採 卵 数	収容前死卵数	収 容 卵 数	♀親魚 使用率	平 均 採 卵 数	期 間
尾	尾	尾	尾	%	尾	
1,138	2,239,200	47,700	2,191,500	96.5	2,431	10. 2～12. 8
294	733,910	7,610	726,300	89.8	3,084	10. 6～11.30
0	0	0	0	0	0	9.10～10.26
23,022	46,737,500	3,197,100	43,540,400	73.2	2,788	9. 4～12.25
778	1,682,400	124,400	1,558,000	50.6	2,795	9. 5～11. 4
952	1,795,000	131,500	1,663,500	70.2	2,400	9.10～10.31
488	822,100	62,900	759,200	89.0	2,204	9.10～11.30
9,979	16,759,500	1,311,700	15,447,800	98.1	2,239	9.10～11.30
6,285	11,617,500	496,500	11,121,000	85.2	2,600	9.10～ 1.31
1,306	2,505,100	169,100	2,336,000	76.4	2,551	9.21～11. 9
42,810	81,607,600	5,493,200	76,114,400	62.5	2,607	9. 4～ 1.31
1,403	2,551,450	51,450	2,500,000	98.4	2,531	10. 1～12.20
54	86,040	2,040	84,000	100.0	2,457	10. 6～11.15
77,259	148,181,100	9,203,300	138,977,800	73.7	2,686	8. 1～ 1.31
96	190,300	1,800	188,500	73.4	2,758	10.11～12.23
72	127,200	2,500	124,700	94.0	2,706	10. 5～12.22
48	71,100	600	70,500	73.0	2,633	10.15～12.17
1,257	2,154,080	25,900	2,128,180	96.7	2,861	10.17～12.20
143	218,000	3,000	215,000	82.5	2,565	10.19～12.13
33	50,000	0	50,000	80.7	2,381	9.26～11.30
0	0	0	0			9. 1～ 1.31
266	344,970	6,670	338,300	90.8	2,573	9.25～12.31
345	643,900	8,900	635,000	100.0	2,927	10. 5～12.25
519	1,157,700	14,900	1,143,000	91.3	3,262	9.10～12.25
1	3,300	100	3,200	100.0	3,300	9. 5～11.30
12	19,200	0	19,200	54.5	3,200	10.10～12.10
3,988	6,193,800	112,100	6,081,700	96.7	2,304	10. 1～12.15
64	116,200	1,200	115,000	87.2	2,834	10. 1～12.20
6,844	11,289,950	177,670	11,112,280	72.9	2,536	
254,890	460,547,380	26,630,230	433,917,150	83.6	2,565	
84,769	168,127,540	7,725,300	160,402,240	74.2	2,704	
170,121	292,419,840	18,904,930	273,514,910			

海区	水	系	事	業	場	収容卵数	死 卵 数	孵出尾数	孵出率	放流尾数	放流期間		
											自	至	
オ コ ッ ク 区	徳	志	別	徳	志	別	尾	尾	尾	%	尾	尾	
							305,000	33,900	271,100	88.9	204,700	5. 9～5.29	
							7,929,490	831,690	7,097,800	89.5	6,914,900	3.10～4.30	
海 区 計						78,163,490	7,842,590	70,320,900	90.0	68,727,400			
日 本 海 区	天	塩	天	塩	(ロクシナイ)	名寄	10,192,550	1,043,750	9,148,800	89.8	7,491,000	4. 3～6.24	
							573,210	59,930	513,280	89.5	487,600	3.30～4. 8	
							2,934,850	583,790	2,351,060	80.1	2,093,800	4.26～5. 6	
	暑	寒	別	増	毛	音	江	2,000,000	191,200	1,808,800	90.4	1,771,900	5.20～6.30
								27,484,500	1,940,900	25,543,600	92.9	24,266,000	3. 1～5.24
								6,421,300	583,800	5,837,500	90.9	5,528,200	3.10～6.20
	尻	朱	別	計	計	計	計	33,905,800	2,524,700	31,381,100	91.0	29,794,200	3. 1～6.20
								1,201,200	187,500	1,013,700	82.3	1,012,500	3.26～5.27
								2,757,500	419,600	2,337,900	84.7	2,297,800	5. 1～5.18
	尻	朱	別	尻	朱	別	別	2,209,600	298,000	1,911,600	84.9	1,909,000	4. 2～4.30
								2,140,000	134,100	2,005,900	93.4	1,997,700	2. 6～3.20
海 区 計								57,914,710	5,442,570	52,472,140	90.6	48,855,500	

海区	水系	事業場	収容卵数	死卵数	孵出尾数	孵出率	放流尾数	放流期間	
								自	至
根室海区	羅臼標々	白別仁津	8,752,720	565,970	8,186,750	93.5	8,152,000	3. 1	6. 20
		茶支	17,519,960	3,572,100	13,947,860	79.6	13,331,060	4. 28	6. 5
		標津	7,711,500	648,100	7,063,400	91.6	6,992,800	4. 20	5. 31
		川計	9,660,200	1,564,670	8,095,520	83.8	7,812,200	4. 1	6. 17
		根別	8,773,700	1,301,900	7,471,800	85.2	7,359,800	4. 15	6. 20
	当床西風別	幌丹別中床	18,433,900	2,866,570	15,597,320	84.5	15,172,000		
		計根別	9,617,000	1,828,520	7,788,480	81.0	7,300,000	3. 1	4. 30
		幌丹別中床	971,900	315,000	656,900	67.6	630,000	3. 1	4. 20
		幌丹別中床	50,132,500	5,312,880	44,819,620	89.4	44,108,950	2. 1	5. 15
		幌丹別中床	4,978,100	433,220	4,544,880	91.3	4,300,000	4. 28	5. 31
標置以東海区	別寒川	太田路居	3,330,100	51,480	3,278,630	98.5	3,213,060	5. 1	5. 28
		川計	121,447,690	15,583,840	105,863,850	87.2	103,188,870		
		阿茶音十	6,410,400	590,800	5,819,600	90.8	5,585,300	4. 15	5. 20
		寒別	29,304,900	3,160,700	26,144,200	89.2	25,693,000	2. 24	5. 20
		川計	9,055,500	461,610	8,593,890	94.9	8,533,440	3. 10	5. 25
	十勝川	阿茶音十	38,360,400	3,622,310	34,738,090	90.6	34,226,440	2. 24	5. 25
		寒別	3,312,400	164,600	3,147,800	95.0	3,112,000	4. 1	5. 20
		阿茶音十	1,654,000	161,300	1,492,700	90.2	1,480,200	4. 21	5. 30
		寒別	726,300	58,410	667,880	92.0	662,000	5. 1	5. 31
		川計	28,795,720	2,205,000	26,590,720	92.3	24,870,000	4. 1	5. 31
標置以西海区	元静鵠白敷伊虻遊	元静鵠白敷伊虻遊	15,952,900	2,009,900	13,943,000	87.4	13,928,000	2. 20	5. 20
		元静鵠白敷伊虻遊	18,847,100	1,450,100	17,397,000	92.3	17,116,510	4. 3	4. 30
		元静鵠白敷伊虻遊	611,000	62,500	548,500	89.8	510,000	4. 3	4. 5
		元静鵠白敷伊虻遊	64,206,720	5,727,500	58,479,220	91.1	56,424,510	2. 20	5. 31
		元静鵠白敷伊虻遊	3,462,400	302,600	3,159,800	91.3	3,071,550	3. 1	4. 30
	落茂知	落茂知	84,000	17,000	67,000	79.8	55,000		
		落茂知	1,948,200	191,000	1,757,200	90.0	1,711,000	2. 22	5. 12
		落茂知	7,813,680	347,140	7,466,540	95.5	7,317,300	4. 1	5. 30
		落茂知	550,000	21,150	528,850	96.1	569,000	2. 1	2. 20
		落茂知	2,653,300	140,430	2,512,870	94.5	2,480,000	2. 27	4. 29
本[年度合計 前年度合計 比較	元静鵠白敷伊虻遊	元静鵠白敷伊虻遊	2,442,000	129,800	2,312,200	94.5	2,310,000	2. 10	4. 10
		元静鵠白敷伊虻遊	1,000,000	59,260	940,740	94.0	939,200	1. 11	2. 18
		元静鵠白敷伊虻遊	1,070,000	52,160	1,017,840	95.0	1,016,500	1. 15	1. 20
		元静鵠白敷伊虻遊	580,000	19,700	560,300	96.6	559,500	1. 17	1. 20
		元静鵠白敷伊虻遊	2,708,200	171,200	2,537,000	95.4	2,513,400	3. 20	5. 20
	落茂知	落茂知	11,513,000	410,600	11,102,400	96.5	16,074,000	3. 18	5. 27
		落茂知	19,200	300	18,900	98.4	18,800	3. 21	3. 31
		落茂知	6,020,900	480,800	5,540,100	92.0	5,537,100	2. 10	4. 21
		落茂知	172,000	8,400	163,600	95.1	162,700	4. 15	5. 25
		落茂知	39,490,480	2,031,940	36,458,540	94.7	36,208,500		
本[年度合計 前年度合計 比較	元静鵠白敷伊虻遊	元静鵠白敷伊虻遊	414,232,990	41,555,460	372,677,520	90.0	361,608,220		
		元静鵠白敷伊虻遊	160,842,040	16,395,260	144,086,720	89.8	140,453,710		
		元静鵠白敷伊虻遊	253,750,950	25,160,200	228,590,740	—	221,154,510		
		元静鵠白敷伊虻遊	—	—	—	—	—		
		元静鵠白敷伊虻遊	—	—	—	—	—		
	落茂知	落茂知	—	—	—	—	—		
		落茂知	—	—	—	—	—		
		落茂知	—	—	—	—	—		
		落茂知	—	—	—	—	—		
		落茂知	—	—	—	—	—		

7. 鱒増殖事業

(1) 鱒増殖事業概況

本年度の鱒増殖事業は直営10個所委託27個所の捕獲採卵場において実施した、桜鱒、樺太鱒とも全道的に浜上数が薄く捕獲数は計画の夫々71.8％、23.8％、採卵数では計画数の58.8％、26.0％という成績に終った。

(参考) 桜 鱒 事業計画と実績並びに前年度との比較

区 分	昭和32年度			昭和31年度	対 比	
	計 画 数	実 績	達 成 率		増	減
捕 獲 数	12,200尾	8,763尾	71.8%	12,592尾	—	3,829尾
雌 使 用 数	6,254尾	3,933尾	62.9%	4,414尾	—	471尾
採 卵 数	13,268,000粒	7,805,150粒	58.8%	9,497,850粒	—	1,692,700粒
運 搬 害 死 卵 数	—	172,710粒	—	285,770粒	—	123,060粒
収 容 卵 数	12,870,000粒	7,632,440粒	59.3%	9,202,800粒	—	1,569,640粒

樺 太 鱒

区 分	昭和32年度			昭和31年度	対 比	
	計 画 数	実 績	達 成 率		増	減
捕 獲 数	113,000尾	26,864尾	23.8%	103,690尾	—	76,656尾
雌 使 用 数	37,462尾	8,494尾	22.7%	36,338尾	—	27,885尾
採 卵 数	48,681,000粒	12,643,090粒	26.0%	45,872,300粒	—	33,229,210粒
運 搬 害 死 卵 数	—	332,190粒	—	1,078,660粒	—	746,470粒
収 容 卵 数	47,200,000粒	12,310,190粒	26.1%	44,793,640粒	—	32,482,740粒

次に各支場管内の鱒捕獲採卵事業の概況を述べて見ると

(北見支場管内概況)

本年度の鱒捕獲事業は直営3ヶ所、委託10ヶ所、計13捕獲採卵場、12河川において実施した、桜鱒は5捕獲採卵場を計画したが3捕獲採卵場で混獲があつたので、計8捕獲採卵場で実施し、捕獲数は2,111尾で計画に対して55.6％、又採卵数1,788,050粒は計画の62.1％であつた。樺太鱒は13捕獲採卵場で実施し計画の17.0％の捕獲11,672尾、又採卵数では計画の24.4％、7,561,760粒の実績であつた。これ等不漁の原因については未だ明確でないが、沿岸の鱒漁業から見て来游群が稀薄の上更に河川の渇水により親魚の浜上に不適であつた事は考えられる。

(根室支場管内概況)

事業実施体制に基き桜鱒5,300尾の捕獲により6,689,000粒の採卵、樺太鱒にあつては27,500尾より12,874,000粒の採卵を目標に、6月11日標津捕獲場が捕獲を開始したのに続いて順次着手し、10月25日の床丹捕獲場を最後に全管内の捕獲を終了した。次に成績についてみると、桜鱒捕獲数は、3,029尾、採卵数3,443,720粒で計画に対し夫々57.2％、51.5％の達成率を示した。樺太鱒では総捕獲数10,308尾、採卵数3,227,363粒で計画に対し夫々37.5％、25.1％の達成率を示した。この様に隔年の豊漁年に当り乍ら不漁であつた原因として推定される事項は次の通りである。

- (1) 海水温が鱒親魚の接岸に適さなかつたためか、沿岸における(羅臼から別海迄)漁獲高は昨年より比し55.9％程度であり、これを推察すると河川浜上の絶体数が少なかつた。
- (2) 昨年度管内桜鱒総捕獲数の72.1％を捕獲した標津川及び西別川の両川は6月11日及び7月15日共に捕獲を開始したので5月の桜鱒親魚の浜上盛期に捕獲をする事が出来なかつた。
- (3) 樺太鱒の捕獲盛期である8月～9月にかけて屢々豪雨に見舞れ河川増水し各捕獲場の捕獲装置は数回に亘り冠水し、大部分の親魚が上流に浜上した。特に昨年度樺太鱒総捕獲数の83.5％を捕獲していた標津川及び西別川は豪雨のため河川増水し5線及び14線捕獲場は8月7日から8月

22日まで、9月18日から9月20日までの2回6ヶ月間に亘り上、下留装置冠水し、そのため下流に停滞していた親魚は一挙に上流え浜上し捕獲を不可能にした。これら親魚は上流え浜上したが上流捕獲場の標準及び西春別捕獲場は距離的に遠いため殆んどが途中において天然産卵若しくは沿線の住民に密漁されたものと考えられる。

(千歳支場管内概況)
管内における桜鱒増殖事業は特に桜鱒を対称とする捕獲、採卵は行はず鮭捕獲事業中混獲されたものについて採卵を実施した。これによる桜鱒の捕獲は、管内では西越で38尾捕獲されたのみで、昨年度捕獲した日高沿岸地方の各採卵場では全く捕獲されなかつた。西越の捕獲に依り68,800粒を採卵し、支場ふ化室に収容した。

(天塩支場管内概況)
桜鱒捕獲事業においては、徳志別捕獲場の6月4日、佐久捕獲場が7月21日に夫々事業を開始した。徳志別川においては昨年の4,246尾に比し本年は2,746尾に終つたが、鱒の浜上は6月中が盛期なので昨年は6月中3,843尾で総捕獲場の92.9%。本年は2,431尾で合計数の88.1%を示している捕獲開始月日を比較すると昨年が6月1日、本年は6月4日となつており、本年は4日の遅れを見せているが、上旬迄の捕獲数は昨年が2,467尾、本年は883尾で大差がついたが、中旬下旬は本年が昨年より上廻る結果となつた。一方天塩川においては美深を移転して下流50軒の中川村富和に新設の佐久捕獲場において7月21日簀止及捕獲槽の設置を終え捕獲開始したが、親魚の浜上は悪く67尾

支 事 業 場 別 桜 鱒 ・ 樺 太 鱒 親							
支 場	事 業 場	捕 獲 数			使 用 親 魚 数		
		♀	♂	計	♀	♂	計
北見	支 場	尾 69	尾 50	尾 119	尾 35	尾 13	尾 48
		69	48	117	55	25	80
	岩 尾 別	113	84	197	106	49	155
		1,551	1,029	2,580	1,510	453	1,963
	斜 里	826	426	1,252	770	276	1,046
		558	338	891	556	199	755
	藻 琴	32	8	40	32	8	40
		218	136	354	198	90	288
	網 走	—	—	—	—	—	—
		565	406	971	414	166	580
	湧 別	—	—	—	—	—	—
		1,266	1,474	2,740	943	380	1,323
	渚 滑	88	47	135	56	16	72
		482	535	1,017	331	85	416
	興 部	163	47	210	47	11	58
		192	225	417	191	64	255
根室	幌 内	108	50	158	105	48	153
		1,320	1,265	2,558	656	318	974
	計	1,399	712	2,111	1,151	421	1,572
		1,756	1,077	2,833	1,286	472	1,758
	計	6,221	5,451	11,672	4,854	1,780	6,634
		23,818	21,556	45,374	20,321	5,977	26,298
根室	羅 臼	—	—	—	—	—	—
		185	182	367	129	45	174
	藻 別	0	0	0	0	0	0
		10	13	23	2	1	3

の捕獲に終つた。昨年美深では7月15日着手し164尾の捕獲数に比し97尾の減少であつた。

樺太鱒では徳志別、北見幌別、風烈布、屯別及新設の音標の5捕獲場と佐久における混獲があつたので、6捕獲場で実施された。徳志別、風烈布の7月8日捕獲開始したのを最初として8月中には全捕獲場が着手したが、総体的に見て4,461尾の捕獲で、昨年の20,362尾に比し約5分の不成績で終つた。又新設された音標川には多大の期待を寄せられていたが、オコック海区全般が不漁のため215尾の捕獲に止まつた。

こゝで例年鱒増殖事業で問題となる事は、習性上春期増水期に浜上するので、捕獲が困難であるばかりでなく、産卵床が上流であるため、鱒の生理上成熟には長期を要するので、蓄養が甚だ困難な場合が多く、増殖事業上多く問題点を残している。従つて本魚種の蓄養方法漁獲方法については更に検討の要がある。特に雌使用率60%以下の個所が、端野捕獲場他13個所に及んでいる現況であるが、桜鱒では昨年度の全道平均の54.6%より69.8%に上昇を示している。樺太鱒では逆に昨年度の81.6%が本年は64.9%に下がっている事は甚だ遺憾である。

(2) 昭和32年度鱒増殖事業成績

① 支事業場別桜鱒・樺太鱒親魚捕獲採卵成績

～此の表の説明～

鱒の事業成績は遺憾ながら低調であるが、親魚使用率は逐次向上している。各支場事業場の所属採卵場の雌親魚使用率の60%以下の個所は未だ7個所あるが、更に向上させるべく鋭意努力中である。

魚 捕 獲 採 卵 成 績 表						註
			上段 桜 鱒 下段 樺 太 鱒			
採 卵 数	収容前死卵数	収 容 卵 数	♀ 親魚使用率	平均 採 卵 数	期 間	
粒 55,300	粒 8,300	粒 47,000	% 50.7	粒 1,580	6.16～10.15	
71,200	1,600	69,600	79.7	1,295	7.17～10.15	
225,300	300	225,000	93.8	2,125	6.15～9.30	
2,569,530	4,530	2,565,000	97.4	1,702	8.1～10.31	
1,167,650	37,650	1,130,000	93.2	1,516	6.7～9.14	
891,580	24,080	867,500	99.6	1,604	8.11～10.31	
53,000	3,000	50,000	100.0	1,656	8.16～9.12	
322,100	9,600	312,500	90.8	1,627	8.16～10.20	
—	—	—	—	—	—	
727,000	34,000	693,000	73.3	1,756	8.16～10.31	
—	—	—	—	—	—	
1,397,250	54,750	1,342,500	74.5	1,482	8.1～10.20	
106,400	600	105,800	63.6	1,900	6.6～10.5	
448,500	17,100	431,400	68.7	1,355	7.23～10.27	
57,800	2,800	55,000	28.8	1,230	6.4～9.28	
304,600	17,100	287,500	99.5	1,501	6.1～10.22	
122,600	2,600	120,000	97.2	1,168	7.1～10.10	
848,000	30,500	817,500	49.7	1,293	7.1～10.31	
1,788,050	55,250	1,732,800	82.3	1,553		
2,165,200	110,500	2,054,700	73.3	1,684		
7,579,760	193,260	7,386,500	78.0	1,558		
27,791,480	600,630	27,190,850	85.3	1,368		
—	—	—	—	—	—	
171,900	1,900	170,000	69.7	1,318	6.11～10.10	
0	0	0	0	0	—	
1,970	70	1,900	20.0	950	9.10～10.31	

支 場	事 業 場	捕 獲 数			使 用 親 魚 数		
		♀	♂	計	♀	♂	計
根室	伊 茶 仁	尾 0 26	尾 0 158	尾 0 184	尾 0 20	尾 0 8	尾 0 28
	中 標 津	1,194 3,510	520 4,211	1,714 7,791	1,190 1,800	502 578	1,692 2,378
	計 根 別	136 249	46 319	182 568	56 235	16 118	72 353
	虹 別	248 571	103 634	351 1,205	129 12	49 5	178 17
	浜 中	409 37	253 65	662 102	339 23	126 10	465 33
	厚 床	72 27	48 41	120 68	70 27	24 11	94 38
	本 年	2,059	970	3,029	1,784	717	2,501
	前 年	3,278	1,180	4,458	2,167	684	2,851
	計	4,615	5,693	10,308	2,248	776	3,024
	本 年	13,941	19,552	33,493	11,568	4,578	16,146
十勝	阿 寒	0 204	0 219	0 423	0 98	0 48	0 146
	計	0 204	0 219	0 422	0 98	0 48	0 146
	本 年	0	0	0	0	0	0
	前 年	6	4	10	6	3	9
天塩	名 寄	41 91	26 79	66 170	13 55	8 22	21 77
	徳 志 別	1,567 1,607	1,179 2,394	2,746 4,001	488 1,053	84 287	572 1,340
	屯 別	0 197	0 93	0 290	0 186	0 48	0 234
	本 年	1,608	1,205	2,813	501	92	593
	前 年	2,391	2,026	4,417	354	80	434
	計	1,895	2,566	4,461	1,294	357	1,651
	本 年	6,769	18,044	24,813	4,443	774	5,217
千才	支 場	23 0	15 0	38 0	21 0	10 0	31 0
	計	23 0	15 0	38 0	21 0	10 0	31 0
	本 年	0	0	0	0	0	0
	前 年	79 0	36 0	115 0	57 0	23 0	80 0
渡島	尻 別	504 0	177 0	681 0	469 0	164 0	633 0
	朱 太	43 0	48 0	91 0	36 0	14 0	50 0
	計	547 0	225 0	772 0	505 0	178 0	683 0
	本 年	550 0	219 0	769 0	550 0	204 0	754 0
	前 年	0	0	0	0	0	0
本 年 度 合 計		5,636 12,935	3,127 13,929	8,763 26,864	3,933 8,494	1,267 2,961	5,200 11,455
前 年 度 合 計		8,054 44,534	4,538 59,156	12,592 103,690	4,414 36,338	1,463 11,332	5,877 47,670
比 較	増 減	—	—	—	—	—	—
	増 減	2,418	1,411	3,829	471	196	677
	増 減	31,508	45,148	76,656	27,885	8,371	36,215

採 卵 数	収容前死卵数	収 容 卵 数	♀親魚使用率	平均採卵数	期 間
粒 0 23,790	粒 0 193	粒 0 23,600	% 0 76.9	粒 0 1,180	— 8. 1~10.10
2,280,560 2,600,710	15,560 92,710	2,265,000 2,508,000	99.7 51.3	1,483 1,116	6.11~10.20 6.11~10.20
128,700 345,350	2,150 9,500	126,550 335,850	41.2 94.4	2,259 1,429	6.11~10.25 6.11~10.25
320,400 14,640	2,460 640	318,000 14,000	52.0 21.0	2,465 1,167	6.23~9.30 6.23~10.20
593,300 24,000	51,000 3,000	542,300 21,000	82.9 62.2	1,600 913	7. 1~9.30 7. 1~9.30
120,700 45,000	700 0	120,000 45,000	97.2 100.0	1,714 1,666	6.11~10. 9 6.11~10. 9
3,443,720 4,644,800	71,870 135,700	3,371,850 4,509,100	86.6 66.1	1,890 2,143	
3,227,360 13,036,740	108,010 408,640	3,119,350 12,628,100	48.7 89.3	1,388 1,127	
0 119,400 0 119,400 0 8,000	0 1,900 0 1,900 0 500	0 117,500 0 117,500 0 7,500	0 48.0 0 48.0 0 100.0	0 1,218 0 1,218 0 1,333	8. 1~10.17
29,180 60,670 1,022,300 1,303,300 0 352,600 1,051,480 693,880 1,716,570 5,036,080	890 1,320 7,300 22,600 0 5,100 8,190 13,100 29,020 68,890	28,290 59,350 1,015,000 1,280,700 0 347,500 1,043,290 680,780 1,687,550 4,967,190	31.7 60.4 31.1 65.1 0 94.4 68.0 14.8 74.7	2,245 1,103 2,095 1,237 0 1,895 2,099 1,960 1,133	9. 1~9.30 7.21~10. 8 6. 4~9.30 7. 8~11. 4 8. 1~10.18
68,800 0 68,800 0 208,970 0	1,300 0 1,300 0 1,470 0	67,500 0 67,500 0 207,500 0	91.5 0 91.5 0 72.2 0	533 0 533 0 3,293 0	9.10~10.31
1,358,600 0 94,500 0 1,453,100 0 1,785,000 0	34,600 0 1,500 0 36,100 0 35,000 0	1,324,000 0 93,000 0 1,417,000 0 1,750,000 0	93.1 0 83.7 0 93.6 0 100.0 0	2,877 0 2,625 0 2,877 0 3,246 0	9. 7~10.19 8. 1~10.10
7,805,150 12,643,090 9,497,850 45,872,300 — 1,692,700 — 33,229,210	172,710 332,190 295,770 1,078,660 — 123,060 — 746,470	7,632,440 12,310,900 9,202,080 44,793,640 — 1,569,640 — 32,482,740	69.8 64.9 54.6 81.6	1,984 1,489 2,155 1,263	

②支事業場別桜鱒・樺太鱒孵化放流成績

支場事業場別桜鱒・樺太鱒孵化放流成績

支 場	事 業 場	収 容 卵 数	死 卵 数	孵 出 尾 数	孵 出 率	放 流 数	放 流 期 間	
							自	至
北見	支 場	225,000	4,300	220,700	98.1	220,000	4.20	4.30
		2,565,000	134,600	2,430,400	94.8	2,420,400	4.20	4.30
	岩 尾 別	47,000	6,000	41,000	87.2	40,000	1.10	1.10
		69,600	5,600	64,000	92.0	63,000	1.30	1.30
	斜 里	897,500	32,300	865,200	96.4	839,300	—	—
		855,000	14,600	840,400	98.3	815,000	—	—
	藻 琴	282,500	27,900	254,600	90.1	254,000	3.15	4.20
		325,000	30,100	294,900	90.7	294,400	3.20	4.30
	網 走	0	0	0	0	0	—	—
		693,000	186,000	507,000	73.2	500,000	3.20	3.25
	湧 別	0	0	0	0	0	—	—
		1,367,500	124,900	1,242,600	90.9	1,230,000	4.1	4.30
	滑 滑	105,800	13,400	92,400	87.3	85,000	3.1	4.10
		431,480	59,500	371,900	86.2	340,000	3.20	5.20
	興 部	55,000	7,700	47,300	86.0	46,500	4.1	4.30
		1,000,000	78,300	921,700	92.2	900,000	4.10	4.30
根室	幌 内	120,000	120,000	0	0	0	—	—
		80,000	80,000	0	0	0	—	—
	計	1,732,800	211,600	1,521,200	87.8	1,484,800	—	—
		2,054,700	306,270	1,748,430	85.1	1,705,130	—	—
	計	7,386,500	713,600	6,672,900	90.3	6,562,800	—	—
		22,830,850	2,980,560	19,850,290	86.9	19,574,840	—	—
	羅 臼	500,000	134,200	365,800	73.2	346,900	2.1	2.28
		670,000	60,440	609,560	91.0	579,150	2.1	2.28
	蕉 別	0	0	0	0	0	—	—
		1,900	310	1,590	83.7	1,390	4.10	4.10
	伊 茶 仁	0	0	0	0	0	—	—
		23,600	2,500	21,200	89.8	20,900	3.1	3.6
	中 標 津	1,765,000	304,050	1,460,950	82.8	1,446,000	2.25	3.25
		2,008,000	256,650	1,751,350	87.2	1,733,800	3.5	5.20
	計 根 別	126,550	13,750	112,800	89.7	102,800	3.1	4.28
		335,850	61,150	274,700	81.8	250,000	3.1	4.30
	虹 別	318,000	18,060	299,940	94.5	294,620	1.5	1.31
		14,000	1,190	12,810	91.5	12,630	1.30	1.31
	浜 中	542,300	34,350	507,950	93.7	506,000	4.25	4.28
		21,000	1,000	20,000	95.2	18,000	4.25	4.28
	厚 床	120,000	1,400	118,600	98.8	116,300	3.1	3.15
		45,000	300	44,700	99.3	43,800	3.1	3.15
	計	3,371,850	505,810	2,866,040	85.0	2,812,620	—	—
		4,509,100	467,110	4,041,990	89.6	3,919,830	—	—
	計	3,119,350	383,540	2,735,810	87.7	2,659,670	—	—
		12,628,100	1,832,180	10,795,920	85.5	10,580,710	—	—

③ 海区水系別桜鱒樺太鱒親魚捕獲採卵成績

海 区 水 系 別 桜 鱒 ・ 樺 太 鱒 親

海 区	水 系	支・事業場	採 卵 場	捕 獲 数			親 魚 使 用	
				♀	♂	計	♀	♂
オ コ ク 海 区	岩 尾 別	岩 尾 別	岩 尾 別	尾	尾	尾	尾	尾
				113	84	197	106	49
	斜 里	斜 里	斜 里	1,551	1,029	2,580	1,510	453
				388	282	670	375	159
海 区	斜 里	斜 里	斜 里	266	197	463	266	99

績表

注 上段 桜 鱒
下段 樺 太 鱒

支 場	事 業 場	収 容 卵 数	死 卵 数	孵 出 尾 数	孵 出 率	放 流 尾 数	放 流 期 間	
							自	至
十勝	阿 寒	0	0	0	0	0	—	—
		117,500	8,100	109,400	93.1	107,200	4.1	4.5
		0	0	0	0	0	—	—
		117,500	8,100	109,400	93.1	107,200	—	—
		0	0	0	0	0	—	—
天塩	名 寄	28,290	4,040	24,250	85.7	20,540	4.26	4.26
		59,350	21,720	37,630	63.4	36,470	4.26	4.26
	徳 志 別	1,015,000	98,900	916,100	90.9	678,100	3.10	4.18
		1,280,700	167,500	1,113,200	87.0	790,000	4.4	5.28
	屯 別	0	0	0	0	0	—	—
		347,500	103,650	243,850	70.2	234,100	3.10	3.31
	計	1,043,290	102,940	940,350	—	698,640	—	—
		680,780	97,170	583,610	85.7	448,690	—	—
	計	1,687,550	292,870	1,394,680	—	1,060,570	—	—
		4,967,190	493,370	4,473,820	90.1	3,640,810	—	—
千才	支 場	67,500	6,100	61,400	91.0	57,000	1.20	4.25
		0	0	0	0	0	—	—
		67,500	6,100	61,400	91.0	57,000	—	—
		0	0	0	0	0	—	—
		207,500	10,300	197,200	95.1	179,900	—	—
渡島	尻 別	1,324,000	115,000	1,209,000	91.3	1,208,000	2.20	4.30
		0	0	0	0	0	—	—
	朱 太	93,000	3,800	89,200	95.9	87,500	3.10	4.10
		0	0	0	0	0	—	—
	計	1,417,000	118,800	1,298,200	91.6	0	—	—
		0	0	0	0	1,295,500	2.20	4.30
	計	1,750,000	257,000	1,493,000	85.3	1,489,200	—	—
		0	0	0	0	0	—	—
	本 年 度 合 計	7,632,440	945,250	6,687,190	69.8	6,348,560	—	—
		12,310,900	1,398,110	10,912,790	64.9	10,390,240	—	—
	前 年 度 合 計	9,202,080	1,137,850	8,064,230	87.6	7,742,750	—	—
		44,793,640	5,818,810	38,974,830	87.0	37,468,460	—	—
	比 較	—	—	—	—	—	—	—
		1,569,640	192,600	1,377,040	—	1,394,190	—	—
	比 較	—	—	—	—	—	—	—
		32,482,740	4,420,700	28,062,040	—	27,078,220	—	—

魚 捕 獲 採 卵 成 績 表 注 上段 桜 鱒
下段 樺 太 鱒

数	採 卵 数	収容前死卵数	収 容 卵 数	♀親魚使用率	平均採卵数	期 間
計	尾	尾	尾	%	尾	尾
	155	225,300	300	93.8	2,125	6.1~9.30
計	1,963	2,569,530	4,530	97.4	1,702	8.1~10.31
計	534	662,250	22,250	96.6	1,765	6.7~9.14
	365	423,850	13,850	100.0	1,593	8.11~10.20

海 区	水 系	支・事業場	採卵場	捕 獲 数			親 魚 使 用	
				♀	♂	計	♀	♂
オ コ ッ ク 海 区	止	別	斜	里	止	別	尾 438	尾 117
	藻	琴	藻	琴	藻	琴	292	100
	網	走	網	走	網	走	32	8
	常	呂	支	場	端	野	218	90
	湧	別	湧	別	湧	別	0	0
	滑	渚	渚	滑	渚	滑	565	166
	モ	ベ	ッ	ッ	モ	ベ	69	13
	興	部	興	部	興	部	69	25
	雄	武	幌	内	雄	武	0	0
	幌	内	ッ	幌	内	幌	1,266	380
	音	標	徳	志	別	音	88	16
	風	烈	布	ッ	風	烈	385	71
	徳	志	別	ッ	徳	志	0	0
	幌	別	ッ	北見幌	別	幌	97	14
	頓	別	頓	別	頓	別	163	11
							192	64
							0	0
							243	37
							108	48
							1,077	281
日 本 海 区	天	塩	名	寄	佐	久	0	0
	石	狩	千	才	西	越	55	22
	尻	別	尻	別	目	国	23	10
	ッ	ッ	ッ	名	駒	駒	0	0
							33	7
							0	0
							471	157
							0	0
							504	164
							0	0
							43	14
							0	0
							611	196
							91	22
根 室 海 区	羅	白	羅	白	羅	白	—	—
	春	刈	古	丹	春	刈	28	0
	植	別	薫	別	植	別	—	—
	忠	類	伊	茶	忠	類	157	45
	標	津	中	標	5	線	10	1
							26	8
海 区 計				2,937	3,418	6,255	1,138	339

数	採 卵 数	収容前死卵数	収 容 卵 数	♀親魚使用率	平均採卵数	期 間
計	計	計	計	計	計	計
512	505,400	15,400	490,000	90.2	1,279	6. 9~9. 9
390	467,730	10,230	457,500	99.3	1,613	8.11~10.31
40	53,000	3,000	50,000	100.0	1,656	8.16~10. 5
298	322,100	9,600	312,500	90.8	1,503	8.16~10.20
0	0	0	0	0	0	—
580	727,000	34,000	693,000	73.3	1,756	8.16~10.31
48	55,300	8,300	47,000	50.7	1,580	6.16~10.15
80	71,200	1,600	69,600	79.7	1,295	7.17~10.15
0	0	0	0	0	0	—
1,323	1,397,250	54,750	1,342,500	74.5	1,481	8. 1~10.20
72	106,400	600	105,800	63.5	1,900	6. 6~10. 5
349	381,500	16,100	365,400	72.2	1,372	7.23~10.27
0	0	0	0	0	0	—
67	76,000	1,000	66,000	54.2	1,501	8. 4~10.13
58	57,800	2,100	55,000	28.8	1,230	6. 4~9 .30
255	304,600	77,800	287,500	99.5	1,501	6. 1~10.22
0	0	0	0	0	0	—
123	86,800	1,800	85,000	35.4	1,550	7. 1~10.20
153	122,600	2,600	120,000	97.2	1,168	7. 1~10.10
851	761,200	28,700	732,500	52.9	1,335	7. 1~10.31
0	0	0	0	0	0	—
51	27,000	2,000	25,000	78.1	628	8. 1~10.14
0	0	0	0	0	0	—
45	29,900	2,500	27,400	40.7	961	7. 8~10.15
572	1,022,300	7,300	1,015,000	31.1	2,095	6. 4~9 .30
1,139	1,134,000	9,000	1,125,000	63.5	1,302	7. 8~11. 4
0	0	0	0	0	0	—
105	112,400	9,100	103,300	95.0	1,183	8. 1~10.20
0	0	0	0	0	0	—
234	352,600	5,100	347,500	94.4	1,895	8. 1~10.18
2,144	2,810,350	62,550	2,747,800	55.3	1,715	—
8,208	9,235,660	220,960	9,014,700	75.8	1,519	—
21	29,180	890	28,290	31.7	2,245	9. 1~9 .30
77	60,670	1,320	59,350	60.4	1,103	9.21~10. 8
31	68,800	1,300	67,500	51.0	533	9.10~10.31
0	0	0	0	0	0	—
33	97,200	2,200	95,000	91.3	3,738	9. 7~10.10
0	0	0	0	0	0	—
600	1,261,400	32,400	1,229,000	94.1	2,847	9. 7~10.10
0	0	0	0	0	0	—
633	1,358,600	34,600	1,324,000	93.1	2,897	9. 7~10.10
0	0	0	0	0	0	—
50	94,500	1,500	93,000	83.7	2,625	8. 1~10.10
0	0	0	0	0	0	—
735	1,551,080	38,290	1,512,790	88.2	2,878	7. 1~10.31
77	60,670	1,320	59,350	60.4	1,103	7.21~10. 8
—	—	—	—	—	—	—
0	0	0	0	0	—	—
—	—	—	—	—	—	—
174	171,900	1,900	170,000	82.2	1,333	9.11~10.10
—	—	—	—	—	—	—
3	1,970	70	1,900	20.0	985	9.11~10.11
—	—	—	—	—	—	—
28	23,790	190	23,600	76.9	1,190	8. 1~10.10
—	—	—	—	—	—	—
1,477	1,703,800	68,300	1,635,500	40.1	1,497	8. 1~10.10

海 区	水 系	支・事業場	採 卵 場	捕 獲 数			使 用 親 魚		
				♀	♂	計	♀	♂	計
根 室 海 区	武 佐	標 津 川 計	当 幌 別 当 幌 別 春 別 床 丹 西 別 虹 別 14 線 西 春 別 西 別 川 計 風 蓮 浜 中 風 蓮 別 当 賀 厚 床 別 当 賀	16	24	40	13	6	
				304	309	613	301	112	
				1,194	520	1,714	1,161	351	
				3,510	4,281	7,791	1,800	578	
				44	27	71	33	7	
				150	165	315	143	80	
				72	14	86	20	7	
				36	54	90	36	13	
				20	5	25	3	2	
				63	100	163	56	25	
				559	623	1,182	0	0	
				248	103	351	129	49	
				12	11	23	12	5	
				248	103	351	129	49	
				571	634	1,205	12	5	
				409	253	662	339	126	
海 区 計	阿 寒 阿 寒 阿 寒	海 区 計	阿 寒 阿 寒 阿 寒	37	65	102	23	10	
				72	48	120	70	24	
				27	41	68	27	11	
				2,059	970	3,029	1,755	566	
				4,706	5,772	10,478	2,248	776	
				204	219	423	98	48	
				204	219	423	98	48	
				5,636	3,127	8,763	3,933	1,267	
				13,026	14,008	27,034	8,494	2,961	
				8,073	4,519	12,592	4,404	1,462	
				44,534	59,156	103,690	36,338	11,332	
				—	—	—	—	—	
				2,437	1,392	3,829	471	195	
				—	—	—	—	—	
				31,508	45,148	76,656	27,844	8,371	

④ 海 区 水 系 別 孵 化 放 流 成 績 表

海区水系別桜鱒・樺太鱒孵化放流成績表

注 上段桜 鱒
下段樺太 鱒

海 区	水 系	事業場	收容卵数	死 卵 数	孵 出 尾 数	孵 出 率	放 流 尾 数	放 流 期 間	
								自	至
オ コ ツ ク 海 区	岩 尾 別 斜 里 藻 琴 網 走 常 呂 湧 別 渚 滑 興 部	岩 尾 別 斜 里 藻 琴 網 走 常 呂 湧 別 渚 滑 興 部	225,000	4,300	220,700	98.1	220,000	4.20	4.30
			2,565,000	134,600	2,430,400	94.8	2,420,400	4.20	4.30
			897,500	32,300	865,200	96.4	839,300	4.20	4.30
			855,000	14,600	840,400	98.3	815,000	4.20	4.30
			282,500	27,900	254,600	90.1	254,000	3.15	4.20
			325,000	30,100	294,900	90.7	294,400	3.20	4.30
			0	0	0	0	0		
			693,000	186,000	507,000	73.2	500,000	3.20	3.25
			47,000	6,000	41,000	87.2	40,000	1.10	1.10
			69,600	5,600	64,000	92.0	63,000	1.30	1.30
			0	0	0	0	0		
			1,367,500	124,900	1,242,600	90.9	1,230,000	4.1	4.30
			105,800	13,400	92,400	87.3	85,000	3.1	4.10
			431,400	59,500	371,900	86.2	340,000	3.20	5.20
			55,000	7,700	47,300	86.0	46,500	4.1	4.30
			1,000,000	78,300	921,700	92.2	900,000	4.10	4.30

数 計	採 卵 数	收容前死卵数	収 容 卵 数	♀ 親魚使用率	平均採卵数	期 間
19	25,610	610	25,000	81.3	1,970	7.1 ~ 10.10
413	449,700	19,200	430,500	99.0	1,494	8.1 ~ 10.20
1,512	2,280,560	15,560	2,265,000	97.2	1,962	6.11 ~ 10.10
2,378	2,600,710	92,710	2,508,000	51.3	1,445	7.1 ~ 10.20
40	78,550	1,050	77,500	75.0	2,380	6.11 ~ 10.25
223	179,550	5,800	173,750	95.3	1,256	8.25 ~ 10.25
27	46,000	1,000	45,000	27.8	2,300	6.11 ~ 10.25
49	49,350	1,850	47,500	100.0	1,371	8.25 ~ 10.25
5	4,150	100	4,050	15.0	1,383	6.14 ~ 10.25
81	116,450	1,850	114,600	88.9	2,079	8.23 ~ 10.25
0	0	0	0	0	—	—
178	320,460	2,460	318,000	52.0	2,484	6.23 ~ 9.30
17	14,640	640	14,000	100.0	1,230	8.1 ~ 9.30
178	320,460	2,460	318,000	52.0	2,484	
17	14,640	640	14,000	2.1	1,230	7.15 ~ 10.20
465	593,300	51,000	542,300	82.9	1,750	7.1 ~ 9.29
33	24,000	3,000	21,000	62.2	1,043	7.1 ~ 9.29
94	120,700	700	120,000	97.2	1,724	6.11 ~ 9.22
38	45,000	0	45,000	100.0	1,666	8.11 ~ 10.9
2,321	3,443,720	71,870	3,371,850	85.2		
3,024	3,227,360	108,010	3,119,350	49.2		
146	119,400	1,900	117,500	48.0	1,218	8.1 ~ 10.17
146	119,400	1,900	117,500	48.0	1,218	
5,200	7,805,150	172,710	7,632,440	69.8	1,985	
11,455	12,643,090	332,190	12,310,900	64.9	1,496	
5,866	9,487,857	285,770	9,202,080	54.6	2,155	
47,970	45,872,300	1,078,660	44,793,640	81.6	1,263	
666	1,682,700	113,060	1,569,640			
36,215	33,229,210	746,470	32,482,740			

海 区	水 系	事業場	收容卵数	死 卵 数	孵 出 尾 数	孵 出 率	放 流 尾 数	放 流 期 間	
								自	至
オ コ ツ ク 海 区	天 塩 名 寄 石 狩 千 才 尻 別 尻 別 朱 太 朱 太	天 塩 名 寄 石 狩 千 才 尻 別 尻 別 朱 太 朱 太	120,000	120,000	0	0	0	—	—
			80,000	80,000	0	0	0	—	—
			1,015,000	98,900	916,100	90.9	678,100	3.10	4.18
			1,280,700	167,500	1,113,200	87.0	790,000	4.4	5.28
			0	0	0	0	0	—	—
			347,500	103,650	243,850	70.1	234,100	3.10	3.31
			2,747,800	310,500	2,437,300	88.7	2,162,900		
			9,014,700	984,750	8,029,950	89.0	7,586,900		
			28,290	4,040	24,250	85.7	20,540	4.26	4.26
			59,350	21,720	37,630	63.4	36,470	4.26	4.26
			67,500	6,100	61,400	91.0	57,000	1.20	1.25
			0	0	0	0	0	—	—
			1,324,000	115,000	1,209,000	91.3	1,208,000	2.20	4.30
			0	0	0	0	0	—	—
			93,000	3,800	89,200	95.9	87,500	3.10	4.10
			0	0	0	0	0	—	—
			1,512,790	128,940	1,383,850	91.5	1,373,040		
			59,350	21,720	37,630	63.4	36,470		

海区	水 系	事業場	収容卵数	死 卵 数	孵出尾数	孵出率	放流尾数	放流期間	
								自	至
根室海区	羅 白	羅 白	500,000	134,200	365,800	73.2	246,900	2.1	~2.28
			670,000	60,440	609,560	91.0	579,150	2.1	~2.28
	薫 別	薫 別	0	0	0	0	0	—	—
			1,900	310	1,590	83.7	1,390	4.10	~4.10
	伊 茶 仁	伊 茶 仁	0	0	0	0	0	—	—
			23,600	2,500	21,200	89.8	20,900	3.1	~3.6
	標 津	中標津	1,765,000	304,050	1,460,950	82.8	1,446,000	2.25	~3.25
			2,008,000	256,650	1,751,350	87.2	1,733,800	3.5	~5.20
	当 幌	計根別	126,550	13,750	112,800	89.1	102,800	3.1	~4.28
			335,850	61,150	274,700	81.8	250,000	3.1	~4.30
西 別	虹 別	318,000	18,060	299,940	94.5	294,620	1.5	~1.31	
		14,000	1,190	12,810	91.5	12,630	1.30	~1.31	
区	風 蓮	浜 中	542,300	34,350	507,950	93.7	506,000	4.25	~4.28
			21,000	1,000	20,000	95.2	18,000	4.25	~4.18
	別 当 賀	厚 床	120,000	1,400	118,600	98.8	116,300	3.1	~3.15
			45,000	300	44,700	99.3	43,800	3.1	~3.15
	海 区 計		3,371,850	505,810	2,866,040	85.0	2,812,620		
			3,119,350	383,540	2,735,810	87.7	2,659,670		

8. 鮭 鱒 親 魚

本年度の蓄養施設の概況は例年と殆んど

(1) 鮭親魚蓄養成績

① 鮭親魚蓄養成績表

採卵場	項目	捕獲数			即使用 ♀	日用	捕獲に 対する即 日使用率	♀			♀ 使用総数	♀使用率
		♀	♂	計				要養数	養数	養率		
岩尾別	尾23	尾23	尾46	尾—	%	尾2	尾2	%	尾2	%		
斜里	519	440	959	25	5	494	494	100	519	100		
藻琴	533	524	1,057	—	—	533	533	100	533	100		
網走	8,835	8,977	17,812	—	—	8,835	8,763	99	6,190	70		
西網走	981	786	1,767	—	—	981	981	100	976	99		
常呂	1,530	1,180	2,710	—	—	1,530	1,429	73	892	58		
端野	1,880	1,899	3,779	933	49	947	936	99	1,854	99		
湧別	14,585	17,534	32,119	—	—	14,585	13,768	94	11,606	79		
渚滑	157	136	293	1	1	157	156	99	156	99		
興部	32	55	87	—	—	32	31	97	31	99		
幌内	268	320	588	6	2	262	262	100	262	99		
徳志別	54	205	259	—	—	54	47	87	44	81		
屯別	1,072	860	1,932	202	19	870	858	99	1,037	97		
幌別	118	422	540	—	—	118	118	100	105	89		
天塩	463	778	1,241	—	—	463	299	65	241	52		
佐久	783	835	1,618	2	0.3	781	775	99	457	58		
石狩	1,986	5,064	7,050	—	—	1,986	511	26	204	13		
江別	16	59	75	—	—	15	15	100	5	33		
音江	936	928	1,864	47	5.1	889	858	97	863	97		
西越	2,087	2,965	5,052	974	48	1,113	1,113	100	2,079	99		
名駒	114	129	243	24	21	90	90	100	87	76		
作開	15	30	45	0	0	15	15	100	10	67		
冷水	99	73	172	64	65	35	35	100	99	100		

海区	水 系	事業場	収容卵数	死 卵 数	孵出尾数	孵出率	放流尾数	放流期間	
								自	至
襟裳海 以区	阿 寒	阿 寒	粒 0 117,500	粒 0 8,100	尾 0 109,400	% 0 93.1	尾 0 107,200	— 4.1~4.5	
			0 117,500	0 8,100	0 109,400	0 93.1	0 107,200		
			海 区 計		0 117,500	0 8,100	0 109,400	0 93.1	0 107,200
本 年 度 合 計			7,632,440	945,250	6,687,190	69.8	6,348,560		
前 年 度 合 計			12,310,900	1,398,110	10,912,790	64.9	10,390,240		
			9,202,080	1,137,850	8,064,230	87.6	7,742,650		
			44,793,640	5,818,810	38,974,830	87.0	37,468,460		
比 較			— 1,569,640	— 192,600	— 1,377,040		— 1,394,090		
			— 32,482,740	— 4,420,700	— 28,062,040		— 27,078,220		

蓄 養 成 績

変っていないので、施設の状況は省略した。

蓄 養 内 訳										そ の 他			
蓄 養 数			死 亡 数				逃 逸 数			老 焦 調 査			
♀	♂	計	♀	♂	計	♀	♂	計	♀	♂	計	♀	♂
尾2	尾3	尾5	尾	尾	尾	尾	尾	尾	尾	尾	尾	尾	尾
494	302	796	—	—	494	100	—	—	—	—	—	—	—
533	278	811	—	—	533	100	—	—	—	—	—	—	—
8,763	2,353	11,116	2,573	29	6,190	70	—	—	—	—	—	—	—
981	786	1,767	5	6	976	99	—	—	—	—	—	—	—
1,429	802	2,231	107	0.7	892	62	357	142	499	—	90	23	—
936	777	1,713	15	0.2	921	98	—	—	—	—	—	—	—
13,768	5,203	18,971	1,881	13	11,606	80	—	—	—	114	—	167	—
156	40	196	1	0.1	155	99	—	—	—	—	—	—	—
31	15	46	—	—	31	100	—	—	—	—	—	—	—
262	232	494	—	—	262	100	—	—	—	—	—	—	—
47	14	61	2	5	44	94	—	—	—	—	—	—	1
858	514	1,372	23	3	835	97	—	—	—	—	12	—	—
118	10	128	13	11	105	89	—	—	—	—	—	—	—
299	56	355	50	19	241	81	—	—	—	—	—	—	—
775	294	1,069	151	19	455	59	157	79	236	—	—	—	—
511	—	511	289	60.1	204	40	—	—	—	—	25	18	—
15	0	15	10	67	5	33	—	—	—	—	—	—	1
858	760	1,618	42	49	816	95	—	—	—	—	96	8	—
1,113	911	2,024	1	0.8	1,105	99	—	—	—	299	48	—	—
90	113	203	0	0	63	70	0	0	0	0	0	0	27
15	29	44	5	33.0	10	67	0	0	0	0	0	0	0
35	6	41	0	0	35	100	0	0	0	0	0	0	0

採卵場	項 目	捕 獲 数			即 使 ♀	日 用 ♀	捕 獲 に 対する即 日使用率	♀			♀ 使用総数	♀ 使用率
		♀	♂	計				要蓄養数	蓄養数	蓄養率		
厚 沢 部	尾 474	尾 448	尾 922	尾 14	% 3	尾 460	尾 455	% 99	尾 460	% 97		
羅 白	3,663	3,074	6,737	2,341	64	1,322	1,044	29	3,373	92		
春 刈 古 丹	215	87	302	7	33	208	200	93	196	91		
植 別	2,450	1,736	4,186	253	10	2,197	2,142	87	2,291	94		
元 崎 無 異	4	8	12	2	50	2	2	50	3	75		
崎 無 異	2,616	1,975	4,591	141	5	2,475	2,442	93	2,488	95		
薰 別	11,464	9,393	20,857	1,958	17	9,506	9,214	80	10,655	93		
古 多 糖	20	16	36	—	—	20	20	100	20	100		
忠 類	139	118	257	5	4	134	132	95	137	99		
伊 茶 仁	1,486	1,263	2,749	181	12	1,305	1,294	87	1,475	99		
5 線	26,638	36,825	63,463	2,914	11	23,724	23,597	89	25,738	97		
標 津	11,063	8,673	19,736	1,325	12	9,738	9,654	87	10,867	98		
武 佐	1,356	945	2,301	—	—	1,356	1,356	100	1,304	100		
当 幌	2,268	2,138	4,406	—	—	2,268	2,268	100	2,231	100		
春 別	369	284	653	—	—	369	369	100	362	100		
床 丹	380	287	667	9	2	371	371	97	376	99		
14 線	27,323	26,378	53,701	137	0.5	27,186	27,102	99	25,242	92		
西 春 別	3,060	1,358	4,418	739	24	2,321	2,321	76	3,060	100		
風 蓮	1,243	1,868	3,111	—	—	1,243	1,243	100	860	69		
別 当 賀	587	680	1,267	65	12	522	522	89	578	99		
仮 監	11,011	9,865	20,876	9,053	82	1,958	1,632	83	10,682	97		
大 別	370	363	733	108	29	262	262	100	370	100		
茅 沼	5,662	5,983	11,645	128	2	5,534	5,533	100	5,286	93		
雪 裡	3,877	4,025	7,902	235	6	3,642	3,642	100	3,840	99		
阿 寒	1,487	1,524	3,011	41	3	1,446	1,446	100	1,369	92		
茶 路	954	1,513	2,467	24	3	930	930	100	921	97		
音 別	265	420	685	0	0	265	265	100	238	90		
打 内	10,482	13,798	24,280	—	—	10,482	4,172	40	—	—		
代 田	22,741	20,347	43,088	132	0.6	22,609	22,454	99	16,833	74		
15 号	1,190	2,127	3,317	6	0.5	1,184	1,144	97	602	51		
東 12 号	1,065	2,092	3,157	—	—	1,065	1,008	95	748	70		
利 別	419	440	859	—	—	419	381	91	373	89		
幕 別	7,630	7,697	15,327	4,341	57	3,289	3,194	97	7,484	98		
面 川	5,242	9,986	15,228	4,468	100	—	—	—	4,468	85		
札 内	1,286	2,076	3,362	293	23	993	845	85	982	76		
歴 舟	1,024	998	2,022	981	96	43	32	74	1,008	98		
広 尾	35	37	72	26	74	9	9	100	35	100		
幌 別	94	212	306	9	10	85	61	72	69	74		
元 浦 河	50	111	161	37	74	13	11	96	47	94		
三 石	37	57	94	1	73	36	35	99	27	73		
静 内	779	737	1,516	111	14	660	660	85	753	97		
新 冠	103	99	202	43	41	60	60	58	85	83		
鷗 川	26	114	140	—	—	26	22	97	21	78		
勇 弘	1,416	1,890	3,306	調 査 河 川 に つ き 捕 獲 の み								
白 老	153	179	332	131	86	22	8	36	122	80		
敷 生	220	283	503	207	94	13	13	100	220	100		
遊 楽 部	389	239	628	76	20	313	283	73	355	91		
野 田 追	1	12	13	1	100	—	—	—	1	100		

蓄 養 内 訳										そ の 他				
蓄 養 数			♀					逃 逸 数			老 魚 調 査			
♀	♂	計	斃	死	産 卵 率	催 熟 数	母 産 卵 率	♀	♂	計	尾 0	尾 0	尾 0	尾 0
尾 455	尾 354	尾 809	尾 0	% 0	尾 446	% 98	尾 0	尾 0	尾 0	尾 0	尾 0	尾 0	尾 9	尾 0
1,044	606	1,650	1	0.1	1,032	99	—	—	—	—	—	218	1,482	16
200	79	279	5	2.5	189	96	—	—	—	5	—	4	—	—
2,142	1,288	3,430	6	0.3	2,038	95	—	—	—	32	—	344	—	—
2	6	8	—	—	1	50	—	—	—	—	—	—	—	—
2,442	1,404	3,846	—	—	2,347	96	—	2	2	21	—	495	—	—
9,214	7,507	16,721	29	3.1	8,697	94	—	—	—	724	1,754	—	—	—
20	15	35	—	—	20	100	—	—	—	—	1	—	—	—
132	69	201	—	—	132	100	—	—	—	—	48	2	—	—
1,294	818	2,112	—	—	1,294	100	—	—	—	—	448	—	—	—
23,597	9,299	32,896	748	3.2	22,824	97	—	—	—	350	22,289	139	—	—
9,654	6,152	15,806	92	1.0	9,542	99	—	—	—	15	14	2,061	137	—
1,356	695	2,051	52	3.8	1,304	96	—	—	—	31	219	—	—	—
2,268	1,901	4,169	15	0.7	2,231	99	—	—	—	—	237	—	—	—
369	240	609	2	0.5	362	98	—	—	—	—	44	—	—	—
371	190	561	—	—	367	99	—	—	—	—	120	97	—	—
27,102	11,755	38,857	1,895	7	25,105	93	—	—	—	—	14,541	30	—	—
2,321	1,142	3,463	—	—	2,321	100	—	—	—	—	172	—	—	—
1,243	436	1,679	309	25	860	66	74	—	74	—	1,432	—	—	—
522	571	1,093	7	1	513	98	—	—	—	2	—	55	—	—
1,632	1,011	2,643	—	—	1,629	99	—	—	—	2	—	1	—	—
262	143	405	—	—	262	100	—	—	—	—	—	—	—	—
5,533	1,842	7,375	214	4	5,158	93	—	—	—	—	134	27	—	—
3,642	2,008	5,650	25	0.7	3,605	99	—	—	—	—	12	—	—	—
1,446	616	2,062	66	5	1,328	92	42	22	64	—	—	—	—	—
930	215	1,145	12	1	897	97	—	—	—	—	21	—	—	—
265	61	326	25	9	238	90	0	0	0	0	0	2	0	0
4,172	710	4,882	3,632	74	—	—	357	20	377	—	20	—	183	—
22,454	6,948	29,402	5,551	25	16,701	74	174	9	183	46	54	9	46	—
1,144	334	1,478	198	17	596	52	300	105	405	17	—	23	—	—
1,008	285	1,293	227	23	748	74	33	6	39	—	—	57	—	—
381	117	498	—	—	373	98	8	2	10	—	—	—	—	—
3,194	1,235	4,429	18	0.6	3,143	98	5	2	7	95	—	24	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	325	449	—	—
845	315	1,160	77	9	689	82	—	—	—	145	—	—	3	—
32	15	47	5	16	27	84	—	—	—	11	—	—	—	—
9	4	13	—	—	9	100	—	—	—	—	—	—	—	—
61	74	135	1	0.2	60	99	—	—	—	24	—	—	1	—
11	4	15	—	—	10	100	—	—	—	2	—	—	1	—
35	48	83	7	20	26	74	—	—	—	3	—	2	—	—
660	484	1,144	—	—	642	100	—	—	—	26	—	—	—	—
60	44	104	2	3	42	70	16	5	21	—	—	—	—	—
22	16	38	1	5	21	96	—	—	—	2	8	—	—	—
8	5	13	—	—	8	100	—	—	—	13	—	1	—	—
13	—	13	—	—	13	100	—	—	—	—	—	—	—	—
283	169	452	8	3	275	97	—	—	—	13	7	—	4	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

採卵場	項目	捕獲数			即日 使用 ♀	捕獲に 対する即 日使用率	♀			♀ 使用総数	♀使用率
		♀	♂	計			要蓄養数	蓄養数	蓄養率		
落部	尾	尾	尾	尾	%	尾	尾	%	尾	%	
茂辺地	2,780	4,359	7,139	2,688	97	92	—	—	2,688	97	
知内	46	93	139	20	23	26	23	88	41	89	
合計	214,749	233,474	448,223	35,529	17	177,001	165,970	77	179,445	84	

② 桜鱒蓄養成績表

採卵場	項目	捕獲数			即日 使用 ♀	捕獲に 対する即 日使用率	♀			♀ 使用総数	♀使用率
		♀	♂	計			要蓄養数	蓄養数	蓄養率		
岩尾別	尾 113	尾 84	尾 197	尾 1	% 0.1	尾 112	尾 106	% 95	尾 106	% 93	
斜里	388	282	670	—	—	388	380	98	375	98	
止別	438	144	582	—	—	438	395	90	395	90	
藻琴	32	8	40	—	—	32	32	100	32	100	
端野	69	50	119	—	—	69	66	98	35	50	
渚滑	88	47	135	—	—	88	61	69	56	63	
徳志別	1,567	1,179	2,746	—	—	1,567	791	51	488	31	
幌内	108	50	158	—	—	108	108	100	105	100	
目国内	33	20	53	0	0	33	33	100	26	91	
名駒	471	157	628	244	52	227	227	100	443	94	
作開	43	48	91	0	0	43	36	84	36	84	
標津	1,178	496	1,674	—	—	1,178	1,177	99	1,148	97	
武佐	16	24	40	—	—	16	16	100	13	81	
当幌	44	27	71	—	—	44	43	97	33	75	
春別	72	14	86	—	—	72	72	100	20	27	
床丹	20	5	25	—	—	20	20	100	3	15	
西春別	248	103	351	—	—	248	248	100	129	52	
風蓮	409	253	662	—	—	409	401	99	339	82	
別当賀	72	48	120	—	—	72	72	100	70	97.5	
佐久	41	26	67	—	—	41	41	100	13	32	
西越	23	15	38	—	—	23	23	100	21	91.4	
興部	163	47	210	—	—	163	163	100	47	28	
合計	5,636	3,127	8,763	245	4	5,391	4,511	80	3,933	70	

③ 姫鱒蓄養成績表

支笏湖	1,556	1,249	2,805	135	87	1,421	1,388	98	1,428	92	
-----	-------	-------	-------	-----	----	-------	-------	----	-------	----	--

④ 樺太鱒親魚蓄養成績表

採卵場	項目	捕獲数			即日 使用 ♀	捕獲に 対する即 日使用率	♀			♀ 使用総数	♀使用率
		♀	♂	計			要蓄養数	蓄養数	蓄養率		
岩尾別	尾	尾	尾	尾	%	尾	尾	%	尾	%	
斜里	1,551	1,029	2,580	—	—	1,551	1,511	100	1,510	97	
止別	266	197	463	12	4	254	254	100	266	100	
藻琴	292	136	428	—	—	292	290	100	290	100	
網走	218	136	354	—	—	218	218	100	198	90	
端野	565	406	971	—	—	565	556	98	414	73	
端野	69	48	117	—	—	69	69	100	55	79	

蓄養内訳											その他			
蓄養数			♀				逃逸数				その他			
♀	♂	計	斃死	斃死率	催熟数	催熟率	♀	♂	計	計	老魚	調査	未熟	成熟不能
尾	尾	尾	尾	%	尾	%	尾	尾	尾	尾	尾	尾	尾	尾
8	8	16	—	—	6	75	—	—	—	—	—	—	—	2
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
23	47	70	—	—	21	91	—	—	—	—	—	—	2	—
165,970	74,783	240,753	18,398	11	144,232	87	1,523	394	1,917	887	2,142	46,684	620	—

蓄養内訳											その他			
蓄養数			♀				逃逸数				その他			
♀	♂	計	斃死	斃死率	催熟数	催熟率	♀	♂	計	計	老魚	調査	未熟	成熟不能
尾	尾	尾	尾	%	尾	%	尾	尾	尾	尾	尾	尾	尾	尾
106	83	189	—	—	106	100	—	—	—	—	—	—	—	—
380	182	562	3	0.1	375	98	—	—	—	—	—	—	2	—
395	117	512	—	—	395	100	—	—	—	—	—	—	—	—
32	8	40	—	—	32	100	—	—	—	—	—	—	—	—
66	13	79	20	57	35	100	—	—	—	—	—	—	—	—
61	16	77	5	8	56	91	—	—	—	—	—	—	—	—
791	98	889	162	20	488	62	143	2	145	—	—	—	—	1
108	50	158	—	—	105	100	—	—	—	—	—	—	3	—
33	20	53	7	—	26	91	0	0	0	0	0	0	0	0
227	68	295	0	0	199	88	0	0	0	0	0	0	28	0
36	30	66	0	0	36	100	0	0	0	0	0	0	0	0
1,177	496	1,673	—	—	1,148	97	—	—	—	—	♀ 1	—	—	—
16	24	40	3	1.8	13	81	—	—	—	—	—	—	—	—
43	27	70	6	1.4	33	76	4	8	12	—	♀ 1	—	—	—
72	14	86	30	41.7	20	27	22	5	27	—	—	—	—	—
20	5	25	3	1.5	3	15	8	3	11	—	—	—	—	—
248	103	351	65	26.2	129	52	54	24	78	—	—	—	—	—
401	151	552	41	1.0	339	99	21	6	27	—	♀ 8	—	♂ 102	—
72	46	118	2	3	70	98	—	—	—	—	—	—	♂ 2	—
41	26	67	23	56	13	32	5	0	5	—	—	—	—	—
23	15	38	—	0	21	91.4	—	—	—	—	—	—	2	—
163	35	198	112	68	47	28	—	—	—	2	—	2	—	—
4,511	1,627	6,138	515	11	3,696	82	257	48	452	2	21	37	105	—

1,388	1,217	2,605	0	0	1,253	91	—	—	—	80	—	15	—	—
-------	-------	-------	---	---	-------	----	---	---	---	----	---	----	---	---

蓄養内訳											その他			
蓄養数			♀				逃逸数				その他			
♀	♂	計	斃死	斃死率	催熟数	催熟率	♀	♂	計	計	老魚	調査	未熟	成熟不能
尾	尾	尾	尾	%	尾	%	尾	尾	尾	尾	尾	尾	尾	尾
1,511	447	1,958	1	0.1	1,510	100	—	—	—	—	—	—	—	—
254	97	351	—	—	254	100	—	—	—	—	—	—	—	—
290	100	390	—	—	290	100	—	—	—	—	—	—	—	—
218	99	317	13	0.6	198	90	—	—	—	—	—	—	7	—
556	173	729	92	16	414	74	30	—	30	—	—	—	—	20
69	30	99	4	0.8	55	79	—	—	—	—	10	—	—	—

項 目	捕 獲 数			即 使 日 用	捕 獲 日 対 用 率	♀			♀ 使用 総 数	♀ 使用 率
	♀	♂	計			尾	尾	%		
湧 別	1,266	1,474	2,740	—	—	1,266	1,076	84	943	74
渚 滑	385	445	830	—	—	385	338	87	278	72
藻 籬	97	90	187	—	—	97	97	57	53	56
興 部	192	225	417	—	—	192	191	100	191	100
雄 武	243	228	471	—	—	243	241	100	86	35
幌 内	1,077	1,037	2,114	—	—	1,077	1,057	98	570	52
音 標	55	160	215	—	—	55	44	80	42	76
風 烈 布	81	186	267	—	—	81	67	83	33	41
德 志 別	1,371	1,786	3,157	—	—	1,371	1,176	86	883	63.5
北 見 幌 別	100	262	362	—	—	100	95	95	95	95
屯 別	197	93	290	—	—	197	194	98	186	94
佐 久	91	79	170	—	—	91	91	100	55	80
羅 白	28	27	55	—	—	28	23	82	—	—
春 刈 古 丹	157	155	312	—	—	157	153	97	129	82
植 別	10	13	23	—	—	10	10	100	2	20
忠 類	26	158	184	—	—	26	23	92	20	77
5 線	2,837	3,418	6,255	—	—	2,837	2,803	99	1,138	40
標 津	369	554	923	26	7	343	343	93	361	98
武 佐	304	309	613	—	—	304	304	100	301	99
当 幌	150	165	315	—	—	150	148	99	143	95
春 別	36	54	90	—	—	36	36	100	36	100
床 丹	63	100	163	—	—	63	63	100	56	89
14 線	559	623	1,182	—	—	559	559	100	—	—
西 春 別	12	11	23	—	—	12	12	100	12	100
風 蓮	37	65	102	—	—	37	37	100	23	62.2
別 当 賀	27	41	68	2	7	25	25	93	27	100
阿 寒	204	219	423	33	16	171	171	84	98	48
合 計	12,935	13,929	26,864	73	0.6	12,862	12,275	95	8,494	66

9. 鮭 鱒 種 卵 の 移 殖

(1) 鮭 鱒 の 移 殖 概 況

種卵移殖の目的とするところは、本道の沿岸における鮭鱒漁獲量の普遍的な向上と既設孵化設備を効果に使用する点にあるが、本年は前記捕獲採卵成績に見る通り、漁獲量が根室、十勝両管内が予想外によかつたため（両管内で捕獲は全道の78.4%、採卵82.0%、）全道各孵化設備を満配し、なお収容しきれない余剰卵約1,790万粒を本州8県に発眼卵として移殖した。大量に本州へ移殖を実施したのは本年がはじめてであつたが好成績をもつて移殖を完了した。

各支場区域外の移殖は道外移殖を含めて総数で127,275,090粒に及びその大半は根室管内からの移殖であつた。又区域内の移殖に於いても総数で98,817,100粒でありこれ又半数が根室管内であつてみれば如何に漁獲量が根室方面に偏したかが判る。

これ等の詳細は下表の通りである。

養 内 訳												そ の 他			
養 数			逃 逸 数			死 亡 数			催 熟 数			老 魚 調 査			
♀	♂	計	♀	♂	計	♀	♂	計	♀	♂	計	尾	尾	尾	尾
1,076	412	1,488	94	8	943	87	—	—	—	—	—	20	—	19	—
338	80	418	42	12	296	87	—	—	—	—	—	—	—	—	—
97	14	111	—	—	56	57	41	11	52	—	—	—	—	—	—
191	64	255	—	—	191	100	—	—	—	—	—	—	—	—	—
241	174	415	—	—	86	35	—	—	—	—	—	—	—	155	—
1,057	671	1,728	—	—	570	54	—	—	—	—	—	28	—	459	—
44	12	56	2	4	42	9.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—
67	15	82	34	51	33	49	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1,176	333	1,509	223	18	871	74	82	18	100	—	—	—	—	—	—
95	10	105	—	—	95	100	—	—	—	—	—	—	—	—	—
194	49	243	8	4	186	96	—	—	—	—	—	3	—	—	—
91	73	164	20	22	55	60	16	12	28	—	—	—	—	—	—
23	9	32	1	4	—	—	22	9	31	—	—	2	—	—	21
153	64	217	9	6	129	84	—	—	—	—	—	3	—	—	92
10	13	23	1	10	2	50	2	—	2	—	—	—	—	—	—
23	9	32	3	13	20	86	—	—	—	—	—	—	—	—	149
2,803	1,025	3,828	132	5	1,138	40	1,531	324	1,855	—	—	51	—	—	2,366
343	536	879	2	6	335	97	—	—	—	—	—	—	—	—	—
304	237	541	3	1	301	99	—	—	—	—	—	9	—	—	63
148	132	280	—	—	143	96	—	—	—	—	—	—	—	—	35
36	24	60	—	—	36	100	—	—	—	—	—	—	—	—	30
63	75	138	4	6	56	88	—	—	—	—	—	—	—	—	25
559	233	792	27	4	559	100	532	197	729	—	—	—	—	—	390
12	11	23	—	—	12	100	—	—	—	—	—	—	—	—	—
37	15	52	14	38	23	62	—	—	—	—	—	—	—	—	50
25	36	61	—	—	25	100	—	—	—	—	—	—	—	—	3
171	176	347	19	11	65	38	87	33	120	—	—	—	—	—	—
12,275	5,448	17,723	748	6	8,989	73	2,343	604	2,947	48	78	640	3,244		

① 鮭 卵 移 殖 成 績 表

北 見 支 場 管 外 移 殖

移殖月日	供 給 地	移殖場所	移 殖 卵 数	運 搬 害 死 卵 数	収 容 卵 数	運 営 率	摘 要
12. 23	網 走	増 毛	2,000,000 粒	8,000 粒	1,992,000 粒	0.4 %	発 眼 卵

根 室 支 場 管 外 移 殖

11. 5	14 線	北 見	2,327,300	164,800	2,162,500	7.1	受 精 直 后 卵
〃	5 線	〃	1,644,800	44,800	1,600,000	2.7	〃
11. 8	薫 別	天 塩	3,452,500	110,480	3,342,020	3.2	〃
〃	14 線	名 寄	2,694,440	267,370	2,427,070	9.9	〃
〃	標 津	天 塩	1,892,500	75,700	1,816,800	4.0	〃
〃	5 線	〃	2,762,500	221,000	2,541,500	8.0	〃
11. 10	〃	斜 里	1,771,200	131,200	1,640,000	7.4	〃
〃	薫 別	〃	2,955,200	140,700	2,814,500	4.8	〃
〃	植 別	〃	841,600	48,600	766,000	6.0	〃

移植月日	供給地	移植場所	移植卵数	運搬害 死卵数	収容卵数	運害率	摘 要
11. 10	崎 無 異	斜 里	1,390,400	86,900	1,303,500	6.3	受精直後卵
〃	14 線	藻 琴	2,962,700	177,700	2,785,000	6.0	〃
11. 11	藻 別	千 歳	3,442,500	255,000	3,187,500	7.4	〃
11. 12	5 線	湧 別	2,627,000	172,000	2,455,000	6.5	〃
〃	標 津	〃	717,500	32,500	685,000	4.5	〃
〃	14 線	〃	2,953,000	243,000	2,710,000	8.2	〃
11. 14	5 線	千 歳	3,813,600	246,100	3,567,500	6.5	〃
〃	植 別	〃	801,400	48,900	752,500	6.1	〃
〃	崎 無 異	〃	1,187,900	82,900	1,105,000	7.0	〃
〃	藻 別	〃	3,377,800	157,800	3,220,000	4.7	〃
〃	伊 茶 仁	〃	707,900	27,900	680,000	4.0	〃
〃	14 線	〃	1,989,400	114,400	1,875,000	5.8	〃
11. 16	藻 別	利 別	2,000,000	94,400	1,905,600	4.7	〃
〃	〃	八 雲	677,600	25,600	652,000	3.8	〃
〃	5 線	〃	2,511,500	156,000	2,355,500	6.2	〃
11. 18	植 別	静 内	532,900	35,340	497,560	6.6	〃
〃	元崎無異	〃	2,500	60	2,440	2.4	〃
〃	崎 無 異	〃	1,286,400	86,400	1,200,000	6.7	〃
〃	藻 別	〃	852,000	52,000	800,000	6.1	〃
〃	武 佐	〃	414,200	14,200	400,000	3.4	〃
〃	5 線	敷 生	1,460,000	110,000	1,350,000	7.5	〃
〃	〃	白 老	2,500,000	185,000	2,315,000	7.4	〃
〃	標 津	敷 生	843,500	26,000	457,500	5.4	〃
〃	14 線	静 内	2,647,300	147,300	2,500,000	5.6	〃
11. 21	5 線	八 雲	7,279,300	471,800	6,807,500	6.5	〃
〃	14 線	〃	1,142,300	52,300	1,090,000	4.6	〃
〃	〃	厚 沢 部	1,020,000	80,000	940,000	7.8	〃
〃	茶 伊 仁	八 雲	758,800	58,800	700,000	7.7	〃
11. 24	5 線	頓 別	4,495,000	408,590	4,086,410	9.1	〃
〃	標 津	〃	520,000	31,920	488,080	6.1	〃
〃	14 線	天 塩	1,404,050	185,340	1,218,710	13.2	〃
〃	〃	名 寄	585,000	77,220	507,780	13.2	〃
11. 27	5 線	千 歳	4,411,700	491,700	3,920,000	11.1	〃
〃	〃	元 浦 河	1,820,000	185,000	1,635,000	10.2	〃
〃	武 佐	千 歳	380,000	77,500	302,500	20.4	〃
11. 28	5 線	音 江	3,500,000	280,000	3,220,000	8.0	〃
〃	14 線	〃	1,500,000	135,000	1,365,000	9.0	〃
12. 1	5 線	朱 太	1,331,600	104,100	1,227,500	7.8	〃
〃	〃	遊 楽 部	1,822,400	122,400	1,700,000	6.7	〃
〃	〃	朱 太	1,623,000	118,000	1,505,000	7.3	〃
〃	〃	遊 楽 部	853,200	63,200	790,000	7.4	〃
道 外 移 殖 卵 合 計			8,205,200	146,329	8,058,871	1.78	発眼卵（内訳別表）
受 精 卵 計			96,100,390	6,724,920	89,375,470	7.0	
発 眼 卵 計			8,205,200	146,329	8,058,871	1.78	
根室支場管外移植計			104,305,590	6,871,249	97,434,341	6.6	

十勝支場管外移植

移植月日	供給地	移植場所	移植卵数	運搬害 死卵数	収容卵数	運害率	摘 要
11. 8	千代田	千 歳	3,701,500	311,500	3,390,000	8.4	受精直後卵
〃	幕 別	〃	2,068,500	228,500	1,840,000	11.0	〃
12. 5	釧 路	伊 茶 仁	3,318,000	0	3,318,000	0	発 眼 卵
12. 26	〃	中 標 津	2,180,000	0	2,180,000	0	〃
道 外 移 殖 卵 合 計			9,701,500	6,820	9,694,680	0.07	〃（内訳別表）
受 精 卵 計			5,770,000	540,000	5,230,000	9.4	
発 眼 卵 計			15,199,500	6,820	15,192,680	0.04	
十勝支場管外移植計			20,969,500	546,820	20,422,680	2.6	

② 鮭卵道外移植成績表

根室及十勝両支場管内より発眼卵として移植したものである。

供 給 地	移植県名	解 化 場 名	移 殖 卵 数	運搬害 死卵数	収 容 卵 数	運害率	摘 要
十 勝 支 場	青 森	岩 木 川 さ け 増 殖 組 合	447,000	3,800	443,200	0.85	
		新 井 田 川 漁 業 協 同 組 合	45,600	0	45,600	0	
		野 辺 地 川 漁 業 協 同 組 合	45,600	6	45,594	0.01	
		小 湊 河 川 〃	45,600	120	45,480	0.26	
		奥 入 瀬 川 鮭 鱒 特 殊 組 合	319,200	10,500	308,700	3.29	
		馬 淵 川 漁 業 協 同 組 合	258,500	10,000	248,500	3.87	
		赤 石 水 産 組 合	45,600	50	45,550	0.11	
	計		1,207,100	24,476	1,182,624	2.03	
十 勝 支 場	秋 田	雄 物 川 鮭 鱒 養 殖 組 合	765,020	100	764,920	0.01	
		関 漁 業 協 同 組 合	382,520	380	382,140	0.01	
		象 潟 川 鮭 ふ 化 組 合	114,970	0	114,970	0	
		前 川 漁 業 協 同 組 合	114,970	0	114,970	0	
		矢 島 〃	76,520	100	76,420	0.13	
	計		1,454,000	580	1,453,420	0.04	
十勝支場	新 潟	阿 賀 野 川 養 殖 場	2,494,000	2,500	2,491,500	0.10	
十勝支場	岩 手	大 槌 鮭 鱒 人 工 ふ 化 場	989,000	597	988,403	0.06	
		津 軽 石 漁 業 協 同 組 合	1,507,600	3,164	1,504,436	0.21	
	計		2,496,600	3,761	2,492,839	0.15	
根 室 支 場	宮 城	大 川 鮭 養 殖 組 合	220,000	453	219,547	0.21	
		阿 武 隈 川 漁 業 協 同 組 合	110,000	1,800	108,200	1.64	
		広 瀬 名 取 川 〃	55,000	194	54,806	0.35	
		北 上 追 波 〃	55,000	338	54,662	0.61	
		鳴 瀬 吉 円 川 〃	55,000	363	54,637	0.66	
	計		495,000	3,148	491,852	0.64	
根室支場	福 島	阿 武 隈 川 ふ 化 場	255,000	2,800	252,200	1.10	
		真 野 川 漁 業 協 同 組 合	165,000	0	165,000	0	

供給地	移植県名	孵化場名	移植卵数	運搬害死卵数	収容卵数	運害率	摘要	
根室支場	福島	新田川漁業協同組合	220,000	2,000	218,000	0.91		
		泉田川	255,000	1,235	253,765	0.48		
		熊川	140,000	350	139,650	0.25		
		木戸川	110,000	1,300	108,700	1.18		
		鯉川	165,000	1,500	163,500	0.91		
	計		1,310,000	9,815	1,300,815	0.70		
根室支場	茨城	那珂川漁業協同組合	275,000	334	274,666	0.12		
		鬼忠川	250,000	5,800	244,200	2.32		
		那珂川第1	275,000	725	247,275	0.26		
		久慈川	220,000	1,400	218,600	0.64		
	計		1,020,000	8,259	1,011,741	0.81		
根室支場	山形	最上川第1漁業協同組合	165,000	2,000	163,000	1.21		
〃		最上川第2	495,000	4,000	491,000	0.81		
十勝支場		丹生川	110,000	10,000	100,000	0.09		
根室支場		小国川	315,000	15,750	299,250	5.00		
十勝支場		最上	215,000	9,300	205,700	4.33		
〃		清川鮭漁業生産組合	870,000	7,700	862,300	0.89		
〃		最上川第8漁業協同組合	275,000	2,750	272,250	1.00		
〃		阿羽	220,000	2,200	217,800	1.00		
十勝支場		箕輪さけ漁業生産組合	860,000	8,600	851,400	1.00		
根室支場		柳川	910,000	9,100	900,900	1.00		
十勝支場		洗沢	110,000	1,100	108,900	1.00		
根室支場		高瀬川	915,000	9,150	905,850	1.00		
十勝支場		月光川	495,000	4,950	490,050	1.00		
根室支場		前谷地	165,000	1,650	163,350	1.00		
〃		出戸	110,000	1,100	108,900	1.00		
〃		日向川	495,000	4,950	490,050	1.00		
〃		赤川漁業協同組合	495,000	4,950	490,050	1.00		
十勝支場		大岩川ふ化場	100,000	1,000	99,000	1.00		
根室支場		温海漁業協同組合	110,000	990	109,010	0.90		
計			7,430,000	101,240	7,328,760	1.36		
合計			17,906,700	153,149	17,753,551	0.86		

北見支場管内移植

移植月日	供給地	移植場所	移植卵数	運搬害死卵数	収容卵数	運害率	摘要
10. 10	幌 内	湧 別	粒 49,500	粒 2,000	粒 47,500	4.0	受精直後卵
〃 16	〃	〃	151,500	6,500	145,000	4.3	〃
〃 22	〃	〃	161,300	6,300	155,000	3.9	〃
〃 29	〃	〃	145,500	5,500	140,000	3.8	〃
11. 6	〃	〃	140,000	5,000	135,000	3.6	〃
〃 15	網 走	藻 琴	1,700,000	110,000	1,590,000	6.5	〃
〃	西網走	〃	301,000	14,300	287,500	4.7	〃

移植月日	供給地	移植場所	移植卵数	運搬害死卵数	収容卵数	運害率	摘要
11. 24	西網走	岩尾別	粒 577,000	粒 37,000	粒 540,000	6.4	受精直後卵
〃	網 走	〃	3,100,000	437,500	2,662,500	14.1	〃
〃 27	〃	〃	2,095,800	88,300	2,007,500	4.2	〃
〃	西網走	〃	125,900	3,400	122,500	2.7	〃
〃	湧 別	〃	1,359,800	67,300	1,292,500	4.9	〃
12. 1	〃	北 見	2,409,000	74,000	2,335,000	3.1	〃
〃	網 走	斜 里	695,500	43,000	652,500	6.2	〃
11. 11	湧 別	渚 滑	720,000	0	720,000	0	発 眼 卵
〃 25	〃	〃	1,197,500	0	1,197,500	0	〃
12. 4	〃	〃	1,017,500	0	1,017,500	0	〃
〃	〃	幌 内	700,000	0	700,000	0	〃
〃 7	〃	〃	900,000	0	900,000	0	〃
〃 13	〃	渚 滑	1,750,000	0	1,750,000	0	〃
〃 14	〃	興 部	930,000	0	930,000	0	〃
〃 20	〃	幌 内	750,000	0	750,000	0	〃
受 精 卵 計			13,012,600	900,100	12,112,500	6.9	
発 眼 卵 計			7,965,000	0	7,965,000	0	
北見支場管内移植計			20,977,600	900,100	20,077,500	4.3	

根室支場管内移植

移植月日	供給地	移植場所	移植卵数	運搬害死卵数	収容卵数	運害率	摘要
10. 14	標 津	虹 別	粒 1,175,150	粒 27,650	粒 1,147,500	2.6	受精直後卵
〃 15	〃	〃	1,300,960	33,460	1,267,500	2.5	〃
〃 17	〃	〃	1,658,880	38,880	1,620,000	2.3	〃
〃 18	〃	〃	1,477,600	61,300	1,417,500	4.1	〃
〃	5 線	〃	287,600	10,100	277,500	3.5	〃
〃 19	標 津	〃	897,240	17,240	880,000	1.9	〃
〃 22	〃	〃	1,524,260	46,760	1,477,500	3.1	〃
〃	14 線	根 室	25,500	500	25,000	2.0	〃
〃 23	標 津	虹 別	1,250,370	27,820	1,222,500	2.2	〃
〃	武 佐	伊 茶 仁	151,860	6,860	145,000	4.5	〃
〃 25	標 津	虹 別	1,624,240	44,240	1,580,000	3.5	〃
〃 29	〃	計根別	1,669,500	94,500	1,575,000	5.7	〃
〃 30	〃	〃	1,518,000	68,000	1,450,000	4.5	〃
〃	武 佐	伊 茶 仁	463,700	11,200	452,500	2.4	〃
11. 1	14 線	浜 中	2,815,900	140,900	2,675,000	5.0	〃
〃 2	〃	根 室	412,460	64,960	347,500	6.2	〃
〃	西 春 別	〃	376,720	24,220	352,500	6.4	〃
〃 3	14 線	〃	439,410	21,910	417,500	5.0	〃
〃 4	〃	〃	226,580	14,080	212,500	6.2	〃
〃	〃	厚 床	1,569,000	54,000	1,515,000	3.4	〃
〃 5	武 佐	伊 茶 仁	433,700	11,200	422,500	2.6	〃
〃 7	14 線	根 室	260,780	8,280	252,500	3.2	〃
〃 9	〃	〃	363,800	11,300	352,500	3.1	〃
〃 11	〃	〃	254,700	27,200	227,500	10.7	〃

移植月日	供給地	移植場所	移植卵数	運搬 死卵 害数	収容卵数	運害率	摘 要
11. 11	武 佐	伊 茶 仁	粒 472,700	粒 10,200	粒 462,500	% 2.2	受精直後卵
〃. 13	14 線	根 室	281,500	16,500	265,000	5.9	〃
〃. 16	〃	〃	145,070	7,570	137,500	5.2	〃
〃. 17	〃	〃	61,020	1,200	60,000	2.0	〃
〃. 19	〃	〃	82,300	4,800	77,500	5.8	〃
〃. 20	〃	〃	124,560	7,060	117,500	5.7	〃
〃. 23	〃	〃	93,100	5,600	87,500	6.0	〃
〃. 24	〃	〃	106,300	1,300	105,000	1.2	〃
〃. 26	〃	〃	245,600	15,600	230,000	6.4	〃
〃. 29	〃	〃	225,000	22,500	202,500	10.0	〃
〃. 30	〃	〃	95,700	5,700	80,000	6.5	〃
12. 2	武 佐	伊 茶 仁	293,500	11,000	285,500	3.7	〃
〃. 3	14 線	根 室	58,100	5,600	52,500	9.6	〃
〃	5 線	虹 別	2,515,000	277,500	2,237,500	11.0	〃
〃. 5	〃	薫 別	1,703,850	168,850	1,535,000	10.0	〃
〃. 6	〃	虹 別	2,008,060	135,560	1,872,500	6.8	〃
〃	薫 別	根 室	7,600	100	7,500	1.3	〃
〃. 7	5 線	薫 別	1,089,400	41,900	1,047,500	3.8	〃
〃. 9	〃	虹 別	1,246,630	48,860	1,197,500	3.9	〃
〃. 13	〃	伊 茶 仁	460,000	35,000	425,000	7.6	〃
〃. 15	14 線	根 室	109,400	11,900	97,500	10.9	〃
〃. 16	〃	〃	142,800	27,800	115,000	19.5	〃
10. 16	〃	羅 白	1,207,800	107,800	1,100,000	8.9	〃
〃. 19	〃	計 根 別	83,000	8,000	75,000	9.6	〃
〃. 20	〃	〃	2,613,000	263,000	2,350,000	10.1	〃
〃. 23	〃	根 室	37,000	4,500	32,500	12.2	〃
〃. 24	〃	〃	2,005,700	245,700	1,760,000	12.3	〃
〃	5 線	虹 別	929,570	27,070	902,500	2.9	〃
〃. 28	〃	〃	2,121,520	114,020	2,007,500	5.4	〃
〃. 29	〃	〃	2,453,280	173,280	2,280,000	7.1	〃
〃. 30	14 線	根 室	806,400	86,400	720,000	10.7	〃
1. 4	〃	〃	255,000	60,000	195,000	23.5	〃
〃. 8	〃	〃	595,000	145,000	450,000	24.4	〃
〃. 13	〃	〃	246,000	61,000	185,000	24.8	〃
〃. 21	〃	〃	95,400	25,400	70,000	26.6	〃
根室支場管内移植計			47,183,680	3,048,680	44,590,000	6.5	

十勝支場管内移植

移植月日	供給地	移植場所	移植卵数	運搬 死卵 害数	収容卵数	運害率	摘 要
10. 17	太 田	釧 路	粒 1,004,800	粒 64,800	粒 940,000	% 6.5	受精直後卵
〃. 18	〃	〃	1,080,000	67,500	1,012,500	6.3	〃
〃. 19	〃	〃	1,083,700	61,200	1,022,500	5.6	〃
〃. 20	〃	〃	1,110,700	63,200	1,047,500	5.7	〃
〃. 22	〃	〃	994,900	79,900	915,000	8.0	〃
〃. 23	〃	〃	1,150,000	67,500	1,082,500	5.9	〃

移植月日	供給地	移植場所	移植卵数	運搬 死卵 害数	収容卵数	運害率	摘 要
10. 24	太 田	釧 路	粒 885,400	粒 45,400	粒 840,000	% 5.1	受精直後卵
〃. 25	〃	〃	823,300	58,300	765,000	7.1	〃
〃. 29	〃	〃	1,215,700	90,700	1,125,000	7.5	〃
〃. 30	〃	〃	1,277,800	77,800	1,200,000	6.1	〃
〃. 31	〃	〃	1,303,600	88,600	1,215,000	6.8	〃
11. 1	〃	〃	1,222,100	89,600	1,132,500	7.3	〃
〃. 2	〃	〃	1,380,000	87,500	1,292,500	6.3	〃
〃. 3	〃	〃	947,600	55,100	892,500	5.8	〃
〃. 4	阿 寒	白 糠	544,000	6,500	537,500	11.9	〃
〃. 7	太 田	釧 路	1,109,400	79,400	1,030,000	7.2	〃
〃. 9	〃	〃	1,269,000	81,500	1,187,500	6.4	〃
〃. 10	〃	〃	1,228,800	71,300	1,157,500	5.8	〃
〃. 11	支 場	大 樹	962,400	0	962,400	0	発眼卵
〃. 30	太 田	釧 路	1,214,300	139,300	1,075,000	11.5	受精直後卵
12. 7	〃	〃	401,900	31,900	370,000	7.9	〃
〃. 27	鶴 居	支 場	2,807,820	0	2,807,820	0	発眼卵
〃	白 糠	〃	1,000,000	0	1,000,000	0	〃
受 精 卵 計			21,247,000	1,407,000	19,840,000	6.6	
発 眼 卵 計			4,770,220	0	4,770,220	0	
十勝支場管内移植計			26,017,220	1,407,000	24,610,220	5.4	

千歳支場管内移植

移植月日	供給地	移植場所	移植卵数	運搬 死卵 害数	収容卵数	運害率	摘 要
11. 20	千 歳	伊 達	粒 966,100	粒 7,800	粒 958,300	% 0.8	発眼卵
〃	〃	虻 田	1,042,900	7,500	1,035,400	0.7	〃
〃	〃	豊 浦	566,800	3,800	563,000	0.5	〃
〃. 27	〃	鵲 川	486,700	3,200	483,500	0.6	〃
千歳支場管内移植計			3,062,500	22,300	3,040,200	0.7	

渡島支場管内移植

移植月日	供給地	移植場所	移植卵数	運搬 死卵 害数	収容卵数	運害率	摘 要
33. 1.21	遊 楽 部	八 雲	粒 753,200	粒 0	粒 753,200	% 0	発眼卵
〃.12.19	八 雲	尻 別	822,900	0	822,900	0	〃
渡島支場管内移植計			1,576,100	0	1,576,100	0	

(2) 鱒 卵 移 殖 の 概 況

鱒の採卵成績は桜、樺共芳ばしくない成績であつたので、鮭鱒の収容量を見合はせて2・3ヶ所のみの移植に止まつた。

鱒 卵 移 殖 成 績 表

北見支場管内移植								
移植月日	魚 類	供 給 地	移植場所	移植卵数	運搬害 死卵数	收容卵数	被害率	摘 要
9. 9	桜 鱒	斜 里	藻 琴	粒 158,000	粒 5,500	粒 152,500	% 3.5	受精直後卵
〃	〃	止 別	〃	83,200	3,200	80,000	3.8	〃
〃	樺太鱒	斜 里	〃	10,150	150	10,000	1.5	〃
〃	〃	止 別	〃	2,530	30	2,500	1.2	〃
10. 3	〃	幌 内	湧 別	203,100	5,600	197,500	2.8	〃
〃.10	〃	〃	〃	336,500	11,500	325,000	3.4	〃
〃	〃	雄 武	〃	56,100	1,100	55,000	2.0	〃
〃.16	〃	幌 内	〃	139,300	9,300	130,000	6.7	〃
〃.22	〃	〃	〃	31,500	1,500	30,000	4.8	〃
11.20	〃	湧 別	興 部	712,500	0	712,500	.0	発 眼 卵
受 精 卵 計				1,020,380	37,880	982,500	3.7	
発 眼 卵 計				712,500	0	712,500	0	
北見支場管内移植計				1,732,880	37,880	1,695,000	2.2	

根室支場管内移植								
移植月日	魚 種	供 給 地	移植場所	移植卵数	運搬害 死卵数	收容卵数	被害率	摘 要
10.10	桜 鱒	中 標 津	羅 臼	粒 500,000	粒 0	粒 500,000	% 0	発 眼 卵
10.25	樺太鱒	〃	〃	500,000	0	500,000	0	〃
根室支場管内移植計				1,000,000	0	10,00,000	0	

10. ひめます増殖事業

本年度捕獲、採卵は、計画目標に対し夫々90.4%、70.1%、昨年に比べれば各々3.6倍1.4倍の好成績であつた。しかし魚体は昨年より小さく、又雌1尾の平均採卵数においては昨年の968粒に対し約56%の483卵であつた。

	捕 獲 数	採 卵 数	收容卵数	5ヶ年平均に対する%		
				捕 獲	採 卵	収 容
27	6,887	1,001,700	821,700	147.5	152.9	150.0
28	8,386	737,100	387,100	179.9	112.3	70.6
29	5,123	797,000	797,000	110.0	121.7	145.2
30	2,183	232,000	226,800	46.9	35.4	41.5
31	762	507,400	507,400	16.3	77.3	92.5
本 年	2,805	700,900	649,300	60.1	107.0	11.2
5ヶ年平均	4,668	655,000	548,000	—	—	—

	捕 獲	♀ 使用	採 卵	収 容	放 流
本 年 度	2,805尾	1,429尾	700,900粒	649,300粒	610,400尾
計画達成率	90.4%	90.2%	70.1%	64.9%	72.5%

(1) 捕 獲・採 卵

♀ 1,556尾、♂ 1,249尾を捕獲し、それより700,900粒を採卵、孵化室に收容した。

捕 獲・採 卵 成 績 表										
年 度	捕 獲 数			使 用 親 魚 数			使用 ♀	採 卵 数	捕 獲 期 間	收容卵数
	♀	♂	計	♀	♂	計				
本 年	尾 1,556	尾 1,294	尾 2,805	尾 1,429	尾 444	尾 1,873	% 91.9	粒 700,900	10.6~11.19	粒 649,300
昨 年	574	188	762	524	164	688	91.2	507,400	10.6~11.17	507,400
対 比	+982	+1,061	+2,043	+905	+280	+1,185	—	+193,500	~	+141,900

備考 12月10日発眼卵51,600粒、阿寒え移出。

(2) 孵 化・放 流

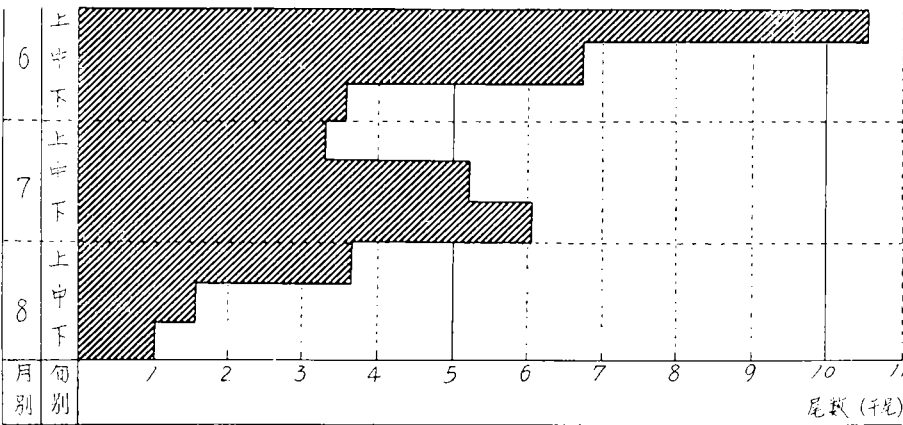
收容卵700,900は順調に発生したが、この内発眼後、51,600を阿寒湖へ移植613,200尾がふ出した（ふ出率94.5%）。ふ出後は養魚地内に放養したが良好に成育したので、370,860尾を自然放流、239,540尾を輸送放流した。輸送放流は、はポロピナイ、モーラツプ、湖畔の各地点に各々103,566,566,119,167,16,812尾と計17回に亘り輸送放流を行つた。

孵 化・放 流 成 績 表						
年 度 別	收容卵数	死 卵 数	孵 出 数	孵 出 率	放 流 数	放流期間
本 年 度	粒 649,300	粒 36,100	尾 613,200	% 94.5	尾 610,400	4.1~4.14
昨 年 度	507,400	70,800	436,600	83.8	425,800	3.15~4.12
対比の増減	+141,900	-34,700	+176,6000	—	+184,600	—

(3) 釣 獲 調 査

支笏湖の生産量調査の資料として、引続き本年度も解禁期間の3ヶ月間（6. 7. 8.月）釣遊者に対し釣獲票を配布、これを回収してまとめた結果は下表の通りである。これらに現れた本年の統計は43,00尾であるが、この他報告もれ、密漁などを考慮すれば、可成りの量が生産されたものと推定される。

旬 別 捕 獲 表



地 区 別 獲 釣 表				
地 区 別	6 月	7 月	8 月	計
湖 畔 地 区	13,410尾	6,878	2,181	22,469
モーラツプ地区	5,300ㄱ	1,450	2,487	9,237
元山丸駒地区	2,815ㄱ	6,440	1,917	11,172
	不 明	21	23	49

11. 資 料 の 刊 行

事業その他一般の参考供するため下記の資料を印刷配布した。

標 題	番 号	発 行 年 月 日
魚 と 卵	64 号 ～ 69 号	32年 5 月～33年 3 月
孵化場試験報告	11 号	32 年 12 月 31 日

12. 調 査 及 試 験

サケ，マスの増殖事業を有効に推進するためにはこれら魚群蕃殖の実態を詳細に調べ障害となる事象を除去すると共に適切な援助を与えることが必要である。

積極的な援助としての人工孵化放流事業は最近飛躍的な発展をとげ技術の向上と共に年間稚魚生産量は4億尾を越えるに至っているが天然蕃殖を含めた総降海量に対する人工生産量の割合は未だ明確にされていない。従つて沿岸に洄遊するサケ，マス資源に対する人工増殖事業の影響も適確に示すことは困難である。

産卵のため河川に浜上する親魚は沿岸漁業その他の障害を逃れた沿岸回遊群の一部であつて、北海道ではその大部分が人工孵化に利用されていると考えられていたが最近迄の調査研究によりそれ以外に全河川に浜上する産卵親魚量は可成大きく自然蕃殖による生産量は決して無視出来ない量であることが推定される。

当场において行われている調査研究は北海道の全河川で生産され降海するサケ，マス稚魚量（人工，天然を含めた）を明らかにすること，更にこれらの稚魚降海群によつて得られる再生産量を究明することにある，そのため生態，資源，環境の各分野に亘つて総合的な調査研究が進められている。

昭和32年度に（1957）においては前年迄に得られた知識を基として，計画に検討が加えられ，特に北海道沿岸から放出降海する稚魚の総量の究明，これら発生源としての魚群の性質或は各種環境の影響等に重点をおいて研究が進められた。その多くのものは年度内に完結することは困難であつて更に今後の研究結果と併せて検討を要するものであるが過去一年間に得られた結果の概要を示せば次の通りである。

Ⅰ 資 源 量 に 関 す る 調 査 試 験

Ⅰ－① 天 然 蕃 殖 に 関 す る 調 査

○メ ム 川 の 調 査

十勝川支流のメム川に実験区域を設け，浜上魚の一部に標識して放養し，産卵量，発生量等天然蕃殖に関する調査を行つた。之等蕃殖機構を正確に知るため産卵環境，親魚の産卵生態更に埋藏卵の

発生，稚魚の生態について調査を進め，一部尚進行中であるが其概要を取纏めた。

本年度メム川に浜上した親魚数は♀5,242，♂9,986，計15,323尾で，過去において最も多かつた1955年の5,724尾に較べ2.6倍余を示し，此の川の捕獲創始以来最高の漁獲を上げた。之の中メム川に設けられたA区，B区及びC区の各試験区へ夫々A区20尾，B区30尾，C区600尾（雌雄同数宛）計 650 尾の親魚に標識して放養し，其の産卵経過を調査した，各区で発見せられた卵床数次の通り

区 別	卵 床 数	雌親魚数	産卵後再捕数
A	10	10	8
B	15	15	12
C	306	300	182
計	331	325	202

A区及B区内の25卵床よりの発生量はB区の下端に設けられた稚魚算定柵によつて全数計数中であるが，1月28日より浮遊降下を始め2月末迄の採集数 616尾に達し降下魚体は1月中の平均40mm に対し2月中の平均45mm を示し可成の成長が認められる。

C区に於ける発生量は卵床中より標本を選び床卵を5厘目金網で囲い発生量を調査中一部既に卵黄吸収を終り浮遊を始めている。産卵床内の浮遊直前の稚魚は砂利の間隙を通つて次第に上部へ移動するが渇水による水位低下のため卵床頂点が水面に露出するものがあり，稚魚は脱出不能となつて斃死を生じ又正常のものでも狭い間隙で運動が制約せられるため底棲生物特にひる等の吸着を受け脱出不能或いは脱出後に斃死するものを生ずる。

○食 害 調 査

天然産卵河川面川において，天然産卵，人工孵化の鮭卵及び鮭稚魚が，この河川に棲息している如何なる魚類に食害されるかを調査するために，毎月上，中，下旬各一回づつ魚類の定期採取を実施した。その結果からこの河川の魚類相は比較的単純で，棲息せる魚種はニジマス，ヤマベ，ウグイ，カジカ，スナヤツメ，フクドジョウ，フナ，イトヨの8種類でその出現度はイトヨ（トミヨを含む）が60%以上を占め，それにウグイ，カジカ，スナヤツメ，フクドジョウ，ヤマベ，ニジマス，フナの順となつている。その内で現在迄に鮭卵鮭稚魚を捕食しているものはカジカ1種だけで，この点他の河川とは大いに異なるようである。胃内容物に就いては現在調査続行中である。

○道内河川の予備調査

各支場管内一河川を選定し夫々の天然蕃殖状況について予備的調査を行なつた。

調査河川は根室支場管内標津川を除き西別川を加えた外略々前年と同様で各河川の産卵床の分布状況，産卵の時期更に産卵親魚等に関する調査を進め次の通り一般的概要を知り得た。本調査は主として担当支場並びに事業場にて行われたものである

十 勝 川

十勝川の調査は主として千代田堰堤より下流の区域について行われた。その区間の産卵場は根本線鉄橋下約4 Kmの小谷の渡場附近を限界として幕別川合流点附近，其の上流小中島附近の広大面積一帯に産卵床が認められ，更に千代田堰堤迄の間の右岸一帯と左岸の一部など極めて大きな面積に亘っている。千代田堰堤で人工孵化用親魚として漁獲される鮭の量は道内河川中随一で其の大部分特設蓄養池で催熟の上採卵とに供せられ，捕獲当時成熟している親魚の数は2%前後で堰堤に

よる浜上抑制により一時この附近に大量の鮭が停滞する、従つて成熟魚の大部分は前記の区間で産卵する状況が見られる。之等多数の産卵床の中特に右岸一帯の卵床は可成河岸に接して認められ、冬期渇水時には稍々多くの卵床の水面露出凍上が認められている

西 別 川

西別川の調査は西春別捕獲場より下流西別市街迄約38軒の間をゴムボートによつて降下して行なわれた。

○上流西春別より栄進迄の間は水深は稍々浅く底質火山礫或ひは砂利の部分が多くて、調査全区间中産卵場として最も良好な環境を呈し例年多数の産卵床が認められている。栄進より下流中西別の間は水深稍々深く、1.5～1.7mを示し上下流に比し産卵床も稍々少ないが、産卵場は処々に散在し放卵後の親魚の斃死が発見されている。更に降下して中西別～西別の間水深更に深く底質は主として砂泥で覆われているが、カル内川合流点より下流36線（左上橋）附近までは砂利底の所が稍々多く、産卵床も可成多数に発見せられている。

この川は河巾稍々狭く上流の稍々浅い部分では固定した刺網が多く認められ、下流の稍々深い場所では突出し棒と称する刺網が併用され調査区間至る所に所謂刺場が散在し、特に張切り、刺網用の杭は各所に発見せられ、密漁の活潑な動きが認められる。全般的にみて、この川の産卵場は極めて大きく本年11月中旬の調査期間中に合計5尾の産卵後の斃死魚を認めていることは稍々多くの天然産卵が推測せられる。

白 老 川

白老川はウヨロ川、風雨別川と合流して太平洋に注ぐ中河川で其の流程約24軒に達する。鮭の浜上は白老川が最も多く、ウヨロ川へは其10%前後で風雨別川には殆んど浜上が無いと云われている。白老川は河口上流約1.7軒附近に親魚の捕獲場が設けられ年々鮭及桜鱒の捕獲が行われている。捕獲場に於ける鮭の成熟割合は一般の河川と同様に早期に少なく10月中旬迄は殆んど成熟魚が認められない。11月中は浜上魚の殆んど全部が成熟魚で12月には其約50%が放卵後の老魚となつている。産卵場の位置は捕獲装置下流附近の浅瀬に最も多く、更に下流室蘭本線鉄橋附近迄の間に集中され捕獲装置の上流は稍々大規模の碎石場のため、又国道と鉄道の間の区域は砂利採集場となつているため鮭の産卵は殆んど認められていない。碎石場の石の洗滌のため、捕獲場上流一体は砂泥に覆れ甚しい場所は2～3寸以上の厚さで河底がカバーされている。

10月以降12月迄の捕獲親魚の中60%以上の成熟魚と11月以降に出現する稍々多数の放卵親魚の捕獲等より見て、この川に浜上する鮭親魚の可成大きな部分が天然に産卵しつつあることがうかがわれる。

朱 太 川

この川は現在鮭の事業を行っていないが鱒の捕獲が8月1日～10月10日の間行われ、その間の混獲鮭は45尾であつた。又鮭の浜上数は不明であるが大体400尾位と推定された。

10月25日～11月27日の間に14回、河川調査を行い、卵床3個を掘起して卵を採取調査した結果317粒に対して不受精卵1個であつた。産卵床の分布は黒松内及本流と熱郭川の合流点が最も多く、定期的に上流から下流に向つて移動している。産卵床は概ね岸から3m以内にあり湧水及滲透水が

流入している附近が多かつた。産卵床附近には密漁者の行動した痕跡が多く認められ、産卵時の密漁による被害がかなり著しい事が推定された。

天 塩 川

当河川は日本海に注ぐ北海道第二位の長い河川であるため、天然産卵する事も多いと思われるが、

河口より81.5Km中川上流まで海水が浸入しているために、殆んど天然に産卵はしない。一昨年迄

は美深橋で捕獲をしていたので途中で天然産卵するものがかなりあつたが昨年度は佐久に捕獲場を

移し、河川全部を遮断したために、増水時を除いてそれより上流に天然産卵するものが殆んどない

状態にある。故に多数の親魚が佐久のウライの下流に集つて産卵する状況が見られる。増水時に上

流に逃避したものはモンポ内附近及び美深川で天然産卵している。しかし美深川では澱粉廃液の放

流のため産卵が澱粉廃物で蔽われてしまい、死んでしまうものの如くである。産卵床を掘つて死卵

数個が採取された。

I—② 人工孵化による生産量調査

A、生産量調査

32年度は札内事業場及び虹別事業場で実施した。両者は、卵及び稚魚の算定方法や、供試卵の選

定など多少異なる点があり、又調査は何れも進行中であるが、採卵から稚魚の孵游、算定まで、同じ

卵を用いて行つている虹別事業場の場合の、卵の淘汰時現在までの減耗、を現地の作業段階毎に区

分して見ると次の通り。

(卵は14線で採卵)

項	目	卵合計に対する割合(%)
雌使用数(尾)	239	—
未利用卵合計	24,606	4.1
収容前死卵	92,236	15.3
淘汰前死卵	12,821	2.1
淘汰後死卵	473,907	78.5
卵合計	603,570	—
1尾平均卵数	2,525	—
淘汰死卵	14,488	2.4
淘汰後生卵	459,419	76.1

B、卵の計測

32年度の主要河川における鮭孕卵数の算定結果は次表の通りである。なお卵容及卵径の測定は未

だ終つていない。

鮭 孕 卵 度 数 分 布 (32 年 度)

卵 数	河川名 捕獲場名	遊樂部 遊樂部	知内川 知内	十 勝 川		石 狩 川			勇弘川	常呂川	岩尾別川	天塩川	西別川	計
				打内	面川	石狩	西越	音江	勇弘	常呂	岩尾別	天塩	十四線	
1,201~1,300	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1	—	—	—	2
1,301~1,400	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1,401~1,500	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1,501~1,600	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1,601~1,700	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	1	—	—	3
1,701~1,800	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	2
1,801~1,900	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1,901~2,000	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1	—	—	2
2,001~2,100	—	—	—	—	—	—	—	1	2	—	2	—	1	6
2,101~2,200	—	—	—	—	1	—	1	1	—	1	2	—	2	8
2,201~2,300	—	—	—	—	2	—	—	—	1	1	—	1	2	7
2,301~2,400	—	—	—	—	—	—	—	3	2	1	2	—	1	9
2,401~2,500	—	—	—	—	2	—	—	1	1	—	1	1	3	9
2,501~2,600	—	—	—	—	1	1	2	3	5	—	1	—	1	14
2,601~2,700	—	—	—	2	6	—	1	2	6	—	—	—	3	20
2,701~2,800	—	—	—	—	1	—	2	1	7	—	1	—	—	12
2,801~2,900	—	—	—	1	1	1	2	—	12	—	2	—	2	21
2,901~3,000	—	—	—	1	2	2	2	2	9	1	2	—	1	22
3,001~3,100	2	1	—	1	3	2	—	4	4	—	—	—	2	19
3,101~3,200	—	—	—	3	2	4	3	5	9	2	—	—	—	28
3,201~3,300	—	—	—	3	2	3	—	1	8	—	1	1	1	20
3,301~3,400	—	1	—	3	1	—	5	1	5	1	—	—	1	18
3,401~3,500	—	—	—	—	1	1	1	2	7	1	1	—	—	14
3,501~3,600	—	—	—	1	1	4	1	1	2	2	1	—	—	13
3,601~3,700	1	—	—	—	1	2	1	1	5	2	—	—	—	13
3,701~3,800	—	—	—	1	—	1	2	2	3	1	—	—	—	10
3,801~3,900	—	—	—	2	—	1	2	—	8	—	—	—	—	13
3,900~4,000	—	—	—	—	1	1	1	—	2	3	1	—	—	9
4,001~4,100	—	—	—	1	—	2	1	1	3	1	—	—	—	9
4,101~4,200	3	—	—	—	—	—	2	—	—	1	1	—	—	7
4,201~4,300	—	—	—	—	1	—	—	1	—	—	—	—	—	2
4,301~4,400	—	—	—	1	—	—	1	—	1	1	—	—	—	4
4,401~4,500	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4,501~4,600	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1
4,601~4,700	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
4,701~4,800	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4,801~4,900	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1
計	7	2	20	31	25	30	35	105	20	20	4	20	319	

Ⅱ 勇 拂 川 に お け る 鮭 の 繁 殖 調 整 試 験

32年度は前年に引続き、稚魚の生産を行わない年に当つておるので同河川に浜上の稚魚の安全捕獲を計ると共に総ての孕卵卵子の孵化を行はず、捕獲親魚は総て測定採鱗した。年令の査定はまだ終つていないが、捕獲魚の内訳を雌雄別の体長組成だけからみると次の通り。

性 体 長 cm	性			性 体 長	性		
	♂	♀	計		♂	♀	計
46.1 ～ 47.0	—	1	1	68.1 ～ 69.0	156	101	257
47.1 ～ 48.0	3	—	3	69.1 ～ 70.0	109	88	197
48.1 ～ 49.0	5	—	5	70.1 ～ 71.0	112	95	207
49.1 ～ 50.0	4	—	4	71.1 ～ 72.0	77	71	148
50.1 ～ 51.0	9	—	10	72.1 ～ 73.0	68	62	130
51.1 ～ 52.0	15	—	15	73.1 ～ 74.0	49	45	94
52.1 ～ 53.0	13	—	13	74.1 ～ 75.0	24	52	76
53.1 ～ 54.0	15	—	15	75.1 ～ 76.0	37	24	61
54.1 ～ 55.0	9	1	10	76.1 ～ 77.0	13	11	24
55.1 ～ 56.0	17	2	19	77.1 ～ 78.0	21	12	33
56.1 ～ 57.0	19	3	22	78.1 ～ 79.0	15	5	20
57.1 ～ 58.0	13	8	21	79.1 ～ 80.0	11	1	12
58.1 ～ 59.0	27	8	35	80.1 ～ 81.0	7	—	7
59.1 ～ 60.0	38	23	61	81.1 ～ 82.0	1	—	1
60.1 ～ 61.1	56	24	80	82.1 ～ 83.0	2	—	2
61.1 ～ 62.0	80	57	137	83.1 ～ 84.0	1	—	1
62.1 ～ 63.0	96	71	167	84.1 ～ 85.0	—	—	—
63.1 ～ 64.0	130	88	218	85.1 ～ 86.0	1	—	1
64.1 ～ 65.0	151	122	273				
65.1 ～ 66.0	144	156	300				
66.1 ～ 67.0	157	128	285				
67.1 ～ 68.0	171	148	319	計	1,876	1,406	3,282

Ⅲ 生 態 に 関 す る 調 査 試 験

Ⅲ—① 稚 魚 標 識 放 流 試 験

32年度の稚魚の標識は、いつれの魚種についても行わなかつた。32年度中に標識魚として再捕の報告に接したもののうち、再捕場所を道内、道外及び北洋と分てその魚種別の尾数は次の通り

場 所	魚 種					備 考
	鮭(白)	鱒	紅	銀	計	
道 内	3,726	14	—	—	3,740	〔鱒の内訳(報告のまゝ)〕桜ます 6、 樺太鱒 5、ほんます 1、 らしやます 1、ます 1、 北 洋 の 鱒は 樺太鱒
道外(山形県)	1	—	—	—	1	
北 洋	182	1	142	3	328	

道内及び道外再捕分の鮭については、年令査定がまだ終つていないので、いまのところ放流河川を判断する段階ではないが、32年度に洄帰を予定している放流群と同じ標識部位をもつたものについて、その部位別、再捕場所再捕数をあげると次の通り。

再捕場所 欠除部位	石狩及厚田沿岸	石 狩 川	石狩川(千才川)	増毛沿岸	雄武沿岸	湧別沿岸	湧 別 川	常 呂 沿岸	常 呂 川	網走沿岸	網 走 川	藻 琴 川	藻 琴 湖 内	斜 里 沿岸	斜 里 川	ウトロ沿岸	岩尾別沿岸	羅 白 沿岸	藻 別 沿岸	大 津 沿岸	計
	or vb	ad vr	ad vb	ad A	or vb	ad vr	ad vb	ad A	or vb	ad vr	ad vb	ad A	or vb	ad vr	ad vb	ad A	or vb	ad vr	ad vb	ad A	計
or vb	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3
ad vr	—	—	—	2	—	49	1	828	237	603	1	2	1	263	1	12	70	1	1	—	2,072
ad vb	5	3	3	8	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	20
ad A	—	—	—	2	—	—	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	1	15

北洋の標識魚については前年同様、標識魚類似の魚体の資料を全魚種について蒐集に当つた。このうち白鮭については鰭が2ヶ処以上欠除している魚体は18尾あり、いずれも脂鰭（A d），右腹鰭（V r）欠除のものばかりである。この組合せは常呂川放流（29年）のもと一致するがこのうち鰭がないために年令の査定が出来ないものが8尾あり、残りの10尾についても、これを常呂川放流分と判断するにはいますこしの資料を必要とするところである。

■一② 親魚の標識放流試験

本年は西別川及び常呂川で実施したが、常呂川は実施予定の9月中には漁が悪くて放流も充分行えず結果が期待出来ない。西別川では10月中旬河口で曳網した親魚と、14線で捕獲された親魚について行つた両河川の試験結果は現在取まとめ中である。

又本年は従来行われた標識放流試験全体の取纏を行つてその概略を研究報告に発表したが、その要約は次の通りである。

1. 標識魚の再捕率は各年著しい相違があつて各河川とも一定の傾向は認められなかつた。
2. 4河川、6ヶ所の放流地点からの放流魚の平均再捕率は、最低は、20.7%最高は27.1%、であつた。
3. 1日当り平均浜上距離は西別川が最も長くて4.2Km，常呂川最も短くて1.9Kmであり、各試験中最も長距離を浜上したのは1日で27Kmであつた。
4. 5種類の標法を使用した但那中、鉛型タッグが比較的良好であり、その他のディスク・タッグも好結果が期待出来た。

■一③ 稚魚の生態調査（研究報告 No. 12参照）

継続的に実施中のさけ稚魚の生態調査の一項目として、稚魚の降海行動について、昭和31年、32年の2ヶ年間観察調査並びに実験を行つたその概要を報告する。

稚魚は日中群をなして岸边近く或いは瀬等に遊泳し、強い陽性趨流性を示すが、夕方から夜間にかけては急激な降下移動を始める。特に日没後2～3時間の間が最も活潑に移動するが、其の時は時間の経過と共に減衰し、日の出後は殆んど移動が見られない。

実験の観察においても、野外観察と同様夕暮となると活潑な降下活動が見られ2～3時間後になるとその活動も漸減する。これらの事から、明・暗による実験の観察結果、稚魚は「明」の場合は降下活動しない。そして、「暗」の場合には降下する。それも「明」に適応された後暗くすると、今までの陽性の趨性（趨流性、趨触性）が失せて降下活動するが、時間の経過と共にその趨性が回復することが容易に推察することが出来た。その原因は稚魚の暗適応によるものと考えられるが、今のところ明らかではない。

又濁水中においても稚魚の活動は夕暮から夜間におけると同じ様な傾向がうかがわれた。このことは河川の中流、下流の半濁水中における稚魚の行動の推察に非常に有益な暗示を提供した。

外環境の変化として、水温、水位、pH、溶存酸素量等の変化に対して明らかな関係が見出されなかつた。

以上、上流地区における稚魚の移動は、特に光と魚の視覚との関係、そしてそれらと魚の趨性との関係が非常に密接であることが推察されそれら複雑な相互関係が稚魚の成群行動に如何に影響するかは今後の研究に俟たねばならない。

■一④ 種族系統調査

道内河川に産卵のため浜上する鮭親魚がどのような種族及び系統関係を有しているかを分析すること、又母川廻帰の消長、資源の大きさ等を検討するための基礎ともなるものであつて、29年より実施せられてきているが、本年は湧払川を加えた8河川、9捕獲場において標本を採取しその魚体の詳細な形態並びに鱗相を測定調査した。

年令別標本採取表

河川名	捕獲場名	年令					
		2	3	4	5	6	計
石狩川	音江	5	13	34	12	1	65
	西越	4	28	7	7	—	45
常呂川	常呂	1	45	36	18	—	100
	14線	—	54	35	11	—	100
薫別川	薫別	—	69	18	13	—	100
	十勝川	—	17	47	36	—	100
湧払川	湧払	1	69	37	13	—	110
	遊楽部川	—	8	27	11	—	46
知内川	知内	—	1	—	4	—	5

次に測定した結果の内、脊椎骨数及び側線鱗数の3ヶ年（29、30、31年度）の結果示すと次の如くである。表に示される如く脊椎骨数においては1、2の河川を除いては年級変動が少く側線鱗数は多少年変動が見られた。

常呂川、西別川と太平洋岸の十勝川、湧払川、遊楽部川におけるものとは脊椎骨数、側線鱗数ともに僅かではあるが差が見られ、知内川のものは他河川と比較して共に非常に多い結果が得られた又、同一河川の音江、西越で捕獲されたものについては、共に僅少ではあるが差が見られ注目すべき事実である。

以上は3ヶ年の脊椎骨数及び側線鱗数についての調査概要であるが、他の測定資料とも併せて整理、調査中であるので、詳細な結果は後日報告する予定である。

背 椎 骨 数（29年、30年、31年、）

河川名	捕獲場	年度性別	29 年			30 年			31 年		
			範 囲	平均値	標本数	範 囲	平均値	標本数	範 囲	平均値	標本数
石狩川	音江	♂	62～69	65.4	52	63～69	65.0	19	62～69	65.7	44
		♀	62～69	65.3	48	63～67	65.3	32	62～68	65.7	21
		計	62～69	65.4	100	63～69	65.2	51	62～69	65.7	65
	西越	♂	64～68	65.5	37	61～66	64.1	28	62～66	64.9	30
		♀	64～67	65.0	58	63～67	64.6	68	63～67	64.7	34
		計	64～68	65.2	95	61～67	64.5	96	62～67	64.8	64
常呂川	常呂	♂	63～67	64.9	60	64～66	64.8	23	63～67	63.2	50
		♀	63～67	64.9	40	62～67	64.6	20	63～68	64.8	48
		計	63～67	64.9	100	62～67	64.7	53	63～68	64.0	98
西別川	14線	♂	62～68	64.8	49	62～67	64.8	35	63～67	63.3	50
		♀	62～67	64.7	51	62～67	64.6	32	63～67	64.7	50
		計	62～68	64.8	100	62～67	64.7	67	63～67	64.0	100
薫別川	薫別	♂	62～67	65.3	45	62～67	65.2	41	64～67	65.7	42
		♀	63～67	65.3	50	63～67	65.3	58	64～68	65.5	58
		計	62～67	65.3	95	62～67	65.3	99	64～68	65.6	100

河川名	捕獲場	年度 性別	29 年				30 年				31 年			
			範 囲	平均値	標本数	範 囲	平均値	標本数	範 囲	平均値	標本数	範 囲	平均値	標本数
十勝川	千代田	♂	63~69	65.6	93	62~69	65.8	48	63~69	65.5	47	63~69	65.5	47
		♀	64~69	65.6	6	63~68	65.4	52	64~69	65.8	53	64~69	65.8	53
		計	63~69	65.6	99	62~69	65.6	100	63~69	65.7	100	63~69	65.7	100
遊楽部川	遊楽部	♂	64~68	65.6	34	64~67	65.5	34	64~67	65.8	23	64~67	65.8	23
		♀	64~68	65.4	20	64~67	65.3	36	64~67	65.5	23	64~67	65.5	23
		計	64~68	65.5	50	64~67	65.4	70	64~67	65.7	26	64~67	65.7	26
知内川	知内	♂	65~67	66.1	19	66~67	66.1	7						
		♀	65~67	66.0	4	65~67	66.2	9						
		計	65~67	66.1	23	65~67	66.1	16						
勇払川	勇払	♂							64~68	65.4	57			
		♀							63~67	65.2	53			
		計							63~68	65.3	110			

側 線 鱗 数 (29年, 30年, 31年,)

河川名	捕獲場	年度 性別	29 年				30 年				31 年			
			範 囲	平均値	標本数	範 囲	平均値	標本数	範 囲	平均値	標本数	範 囲	平均値	標本数
石狩川	音江	♂	131~143	136.4	52	130~148	137.0	18	134~146	137.8	44	134~146	137.8	44
		♀	132~145	137.1	48	132~142	136.9	32	132~143	138.3	21	132~143	138.3	21
		計	131~145	136.8	100	130~148	136.9	50	132~146	138.0	65	132~146	138.0	65
常呂川	常呂	♂	133~140	135.3	36	132~143	135.1	28	133~138	135.3	30	133~138	135.3	30
		♀	133~140	135.7	58	132~140	135.3	68	133~140	135.3	33	133~140	135.3	33
		計	133~140	135.5	94	132~143	135.3	96	133~140	135.3	63	133~140	135.3	63
西別川	14線	♂	134~145	137.3	49	130~143	136.6	35	132~140	135.8	50	132~140	135.8	50
		♀	132~143	137.2	51	130~141	136.7	32	133~139	135.7	50	133~139	135.7	50
		計	132~145	137.3	100	130~143	136.6	67	132~140	135.8	100	132~140	135.8	100
遊楽部川	遊楽部	♂	134~144	138.4	30	134~142	137.8	33	134~143	138.2	23	134~143	138.2	23
		♀	134~144	138.6	20	135~141	137.5	36	134~143	137.5	23	134~143	137.5	23
		計	134~144	138.5	50	134~142	137.6	69	134~143	137.8	46	134~143	137.8	46
知内川	知内	♂	138~144	140.8	19	138~148	141.6	7						
		♀	142~144	142.5	4	136~144	140.3	9						
		計	138~144	141.1	23	136~148	140.8	16						
勇払川	勇払	♂							133~142	136.8	57			
		♀							133~140	136.6	53			
		計							133~142	136.7	110			

Ⅲ-⑤ 漁獲物組成調査 (31年度)

北海道内各河川に浜上する鮭、鱒親魚の魚体測定、採鱗は過去長期間継続的に実施せられて来ているが、本年も例年と同様実施され、生態調査の基礎資料とするため、年令組成、体長、体重組成、及び鱗相を調べた。

31年度主要河川の年令組成は次の如くであつた。

31年度における年令組成において顕著に表はれているのは2,3年の若年魚が他年度に比して(資料参照)非常に多く、主群の4年魚が少い事である。これは31年度の資源が非常に少いことを示す一つの現われと考えられる。又若令魚の出現は特に石狩川の場合、32,33年度の洄帰魚に期待出来る一つの示唆とも云えるだろう。

なお、体長、体重その他については30, 31, 32年の3ケ年をまとめ後日報告する予定である。

31 年 度 主 要 河 川 の 年 令 組 成 ;百分率【()は尾数】

河川名	2	3	4	5	6	計
石 狩 川	10.1 (26)	36.0 (93)	30.6 (79)	21.7 (56)	1.6 (4)	100 (258)
湧 別 川	4.7 (7)	9.4 (14)	7.45 (111)	10.7 (16)	0.7 (1)	100 (149)
西 別 川	0.3 (1)	45.4 (180)	46.2 (183)	7.8 (31)	0.3 (1)	100 (396)
十 勝 川	—	13.5 (34)	53.9 (136)	30.6 (77)	—	100 (252)
遊 楽 部 川	—	17.0 (8)	54.8 (23)	26.2 (11)	—	100 (42)
知 内 川	—	20.0 (1)	—	80.0 (4)	—	100 (5)

Ⅳ 支笏湖 姫 鱒 調 査

(1) 姫 鱒 について

姫鱒の漁獲高は前年に比してかなり増大し、地元釣獲数は釣獲表報告の分のみで計42,554尾、親魚捕獲数は2,805尾で実際の取上高はこれら両者の合計をさらに以廻るであろう。この魚獲高の増加は昭和29年以降の餌料プランクトン発生量が良好の為と考えられ、昭和27年以降の漁獲高の変動傾向はプランクトンの発生が、姫鱒の生き残りに極めて影響して居ることを示している。

尚、本年の姫鱒の捕食状況は胃内容物の観察結果甲殻類プランクトンを主として捕食して居り、良好であつた。又本年春の降河状況は容易に防止網で阻止され、流下確認数は30尾強にすぎなかつた。

漁獲魚及び親魚の体長分布、年令査定は検討中

(2) 環 境 について

甲殻類プランクトンは数年間優占種であつたDaphnia longispinaが幾分減少しAcanthodiaptomus pacificusが春~秋極めて多量に出現した。又湖生産に主要な役割を務める植物プランクトン(Dominant sp., Melosira italica)は一昨年以来徐々に減少して来ている。この結果より見るとプランクトン発生状況は年々悪化の状況をたどり始めていると考えられる。

Ⅴ 支 場 における調査試験について

① 立 体 孵 化 器 試 験 (各支場共通試験)

本年度は31年度の試験を検討の結果孵化器の構造について一部改造を加え、各支場に配置実験を行つた。試験の主眼を採卵直後卵の収容からふ出までの孵化成績と、ふ出後放流迄の飼育中にお

ける成績並びに管理面においているが、下記箇所において夫々特殊事情も併せて試験を行つた。

実 施 場 所	項 目
十 勝 支 場	低水温及び不定水温に対する影響
天 塩 〳	固形物（浮泥等）の量に対する影響
北 見 〳	所要酸素量に関する試験
千 才 〳	二段式（10枚重ね）に於ける影響

- 31年度試験の結果によりふ化器を下記により改造使用した
- ・ふ化盆の出入口より鼠が入り被害を受けた所があつたのでB型（バスケットは有蓋）を作成した。
 - ・ふ化枠の底部水泡を防止するための後端の棧を除去した。
 - ・ふ化枠のプラスチック網は稚魚の卵黄が突出するので之を18# 5厘～7厘金網とし、なお通水をよくした。
 - ・ふ出開始中の卵膜が排水部（鉄板エナメル塗り）に附着する惧があつたので流水面積を多くし障害を少なくするため18# 5厘～7厘金網を傾斜して取付けた。
 - ・少量の用水を有効に利用するためふ化排水部にスポンジを取付けた。
 - ・排水栓を2ヶとした。
 - ・排水樋は下盆への注水便ならしめるため4.5Cm迄延長した。

○経過及び結果の概要

(1) 所 要 酸 素 量

実施場所 北 見 支 場

稚 魚	型	1 盆 収 容 数	最 下 段 に お け る 酸 素 量	注 水 の 酸 素 量	注 水 量
孵化後 33 日	5 段 式	5,300尾	29.0%—33.4%	75.7%	4ℓ1分
	10 〳	5,700〳	21.4	71.9〳	〳
〳 55	5 〳	8,000〳	25.4	61.7〳	8
	10 〳	5,700〳	39.9	61.7〳	12
			29.0	61.7〳	6
			38.6	61.5〳	12

上記の結果より放流直前の稚魚は6—12ℓ/毎分の注水で、5段式の場合40,000尾10段式60,000尾程度は安全に飼育出来る。

(2) 2 段式に伴う各種の影響

実施場所 千 才 支 場

(㊦) 孵 化 成 績

有蓋、無蓋式共に差は認められなかつた。又盆の上下による成績への影響も同様で、孵化迄は何等問題はなかつた。

(㊦) 稚 魚 の 飼 育

孵化後の管理は本孵化器の管理上最も注意を要するところで卵膜残渣の網目への吸着閉塞等は全く見られず順調にいつた。

(㊦) 飼育尾数と注水量無

蓋式は有蓋式に比べ排水面積が劣程度のため孵化直後の稚魚は注水量が増すと排水部の金

網に吸着して斃死するので5ℓ/分の注水で孵化後12日目の稚魚は20,000尾（10ℓ/分で、15,000尾）放流期の稚魚は10,000尾（10ℓ/分で6,000尾）収容出来る。

(㊦) 酸素消費量と収容能力

孵化後は急速に酸素要求量が増大するので注水を増加させなければならないが何により注水の制限を受けるので収容数にも制限をうけ、収容能力は可成小さくなる。本孵化器は放流迄飼育するので放流期の稚魚の収容能力が卵子の収容数となるわけで、放流期の稚魚は5.5ℓ/分の注水で1盆10,000尾収容すると5段目で酸素の飽和度は20%、6段目以下は12%に下り、危険状態となるので、5段式で1盆10,000尾収容し5.5ℓ/分の注水が最小水量である。

(㊦) 流下に伴う酸素の恢復

流下による酸素の恢復は1盆当り0.55cc/<程度で案外少いことがわかつた。

(3) 浮泥量と低水温による影響

実施場所 天 塩 支 場

収容当時の水温は7° Cであつたが遂次低下し、発眼時には2.1° Cとなり62日を要した。

又浮泥のために卵粒間の間隙はなくなる状態で発眼率は75.7%であつた。発眼より孵化迄の経過を見ると外気温の影響で対照卵より2週間以上おくれ孵化した。（孵化率71.9%）孵出より放流迄放流間近かに水田の代掻水が混入し浮泥のために網目が閉塞され試験をつづけることが出来なくなり中止した。注水量は9ℓ/分であつた。

(4) 管 理

実施場所 十勝支場、根室支場、渡島支場

十勝支場 有蓋、有蓋式共44,000粒（1盆7,000—10,000粒）を収容して4ℓ/分の注水で孵化率は90.1—90.3%と大差なし好成绩であつたが孵出後1月目位より大量の斃死魚が出た（44.8—36.6%）がこれは酸素の不足によるものの様であつた。又放流直前の稚魚を1盆に8,000尾収容し飼育したが無蓋式の4.5段に大量（44—54.6%）の斃死魚が出た。十勝支場においては4ℓ/分の注水で孵化迄は1盆に10,000粒、孵出後は5,000尾が限度の様である。

渡島支場 卵膜残渣等によつて網目がふさがれ通水が悪くなるのでないかと思はれたが魚体の運動によりその様なこともなく通水は良かつた。構造上の欠陥により孵上期近くに逃逸するものが相当数に上つた。有蓋式は無蓋式に比べ取扱操作の管理に非常に手数を要した又マラカイトグリーン消毒は週2回実施した。

根室支場 注水量を1.1ℓ/分として1盆10,000粒を収容した場合下段に行くに従い成績は低下する。これは水量の絶対量が不足で且浮泥の堆積による窒息等が原因と考えられる。注水量を6.5ℓ/分とし1盆に9,500粒を収容した場合孵化率は98.3%と非常に良い成績で有蓋、無蓋式の差はなかつた。しかし孵出後はこの水量では未だ酸素の不足を来す様であつた。

期間中泥流しを4回、マラカイトグリーン消毒（40万分ノ1）は週2回実施した。浮游期近くになつて無蓋式のものに逃逸するものが可成の数に上つた。

② アトキンス式孵化器による２段盛について（各支場共通試験）

天 塩 支 場 の 概 要

事 業 場	2 段 盛	1 段 盛	普 通 盛
天 塩	55.9～87.9%	88.4%	71.2～87.9%
頤 別	86.7～89.3%	—	89.4～91.6%

- 1) 1 段盛は、卵盛り操作も２段盛に比べ簡単で孵化成績も良好であるが収容卵数が設備に対して著るしく不足する欠点がある。２段盛は水温低く、浮泥の多い所は不適であり卵盛り操作が面倒で、卵により孵化盆を改良しなければならない。普通盛は１盆 2,500 粒盛りの１段と大差がない。

北 見 支 場 の 概 要

事 業 場	2 段 盛	1 段 盛	普 通 盛
北 見	94.7%	—	94.2%
湧 別	88.8%	—	89.3%
網 走	80.7%	—	88.6%
藻 琴	93.8%	—	—
岩 尾 別	88.6%	—	91.6%

各事業場とも２段盛りと普通盛りでは孵化成績には大差ないが、２段盛は消毒を行ななければ窒息のおそれがある又卵盛り操作が容易でない。

渡 島 支 場 の 概 要

事 業 場	2 段 盛	1 段 盛	普 通 盛
遊 楽 部	49.2%	—	95.0%
厚 沢 部	93.3%	—	93.8%
知 内	95.6%	—	95.3%
利 別	93.0%	—	84.0%
尻 別	93.2%	—	94.4%

２段盛りでは、孵化盆が古い規格のものであるため、枠が浅く且つ中だるみが出来る関係上、卵が圧迫され窒息卵を出す危険性がある又遊楽部は浮泥が多く、八雲、尻別、朱太は卵膜軟化症が発生し、消毒を必要とする関係上共に適さない。

千 歳 支 場 の 概 要

事 業 場	2 段 盛	1 段 盛	普 通 盛
千 歳	94.5%	—	95.5%
元 浦 河	—	96.2%	95.1%
白 老	92.1%	—	91.9%

各場とも２段盛は若干成績が悪かったが、これは卵盛り操作及ど管理面の不慣れによるものと考えられる。

十 勝 支 場 の 概 要

事 業 場	2 段 盛	1 段 盛	普 通 盛
支 場	81.4%	%	88.8%
太 田	92.7%	87.4%	94.6%
釧 路	93.4%	—	91.2%
鶴 居	89.5%	83.0%	88.8%
阿 寒	95.5%	97.3%	97.0%
白 糠	82.6%	89.4%	85.2%
幕 別	86.3%	—	88.5%
札 内	—	—	—
大 樹	82.8%	86.1%	83.8%

十勝支場管内は、支場を除いて各事業場とも成績は変らないが、卵の管理操作上不便を伴う即ち卵の収容、検卵、操作に不便を感じるばかりでなく、卵がこぼれ易く、且つ消毒液の浸透が悪い以上の結果を総合すると、次の諸点より考察して実数把握の方法として適当でない

1) 卵 盛 り 操 作

現行の 2,500 粒盛りに比べ、２段盛りは技術的には困難で、長時間を要し且つ卵がこぼれる

2) 孵 化 盆

古い規格の盆では枠が浅く中だるみとなり卵を圧迫する。

3) 消 毒

消毒液の浸透が悪い。

4) 現行の計算値と実数との間に大きな誤差が出る。

③ 養魚池内稚魚の減耗調査（各支場共通試験）

養魚池の一部に試験区を設けて区内の流水底質等を養魚池の環境と同一にし、この中に養魚池と同一基準による稚魚を収容して稚魚の減耗状況の調査を行つた。各場の概要は次のとおりである。

渡 島 支 場

各場の養魚池坪当たり撒布数の基準により発生直前卵を孵化槽に収容孵化後撒布した。

	尻別	朱太	利別	厚沢部	知内	遊楽部	八雲
減耗率	0.30%	0.46	0.13～0.10	0.51	0.46	0.74～1.20	0.39

北 見 支 場

調査枠内の稚魚の状況は養魚池のものより不活発で発育がおくれ、又浮泥のため金網目がつまって水の交流が悪く養魚池の環境とは可成条件の異なるところもあつた。

支場	湧別	網走	藻琴	斜理	岩尾別
3.4%	1.1	1.2	0.3	(72.3)0.03	0.83 ()内は逃逸不明魚を含む

根 室 支 場

養魚池と調査区内は同一環境要因であることが第一条件であるが、浮泥のため注水の不良、運動、共喰い、逃逸等調査区域内の減耗率から養魚池全体の減耗率を推定するには相当の誤差があるものと考えられ、これを実用化するにはなお考究の余地がある。

支 場	羅臼	藻 別	伊 茶 仁	中標津	計根別	浜中	厚床	()内は窒息死を含む
5.8—6.7%	1.1	15.5—12.0	(56.5) 8.3	12.2—96	2.3	47.—2.8	0.5	

天 塩 支 場

枠内の環境条件が養魚池のそれと同一に出来ない、又撒布稚魚運動、摂餌状態も広い養魚池とは全く異っており、本調査により求めた減耗率を以て養魚池における減耗数を求めることは疑問が多い。

支 場	頓 別	名 寄
19.5—20.5	2.2—2.3	22.3—38.0

十 勝 支 場

場所によつて調査枠内の環境条件が養魚池より良好のところもあつたが、夫々環境条件が異り養魚池内減耗の根拠とし実用化するには検討の余地がある。

支 場	太田	釧 路	阿 寒	白 糠	幕別	札内	大 樹	鶴 居
2.2%	26.6	0.4—1.5	2.2	1.5—1.6	1.1	—	2.8	1.3—7.6

千 歳 支 場

昨年 비해減耗率は一般に小さくなつてゐる。

支場	音江	敷生	白老	元浦河	
—	7.5%	1.5	1.9	2.6	支場は放流算定前に逃逸魚が出来たので中止

その他調査研究中のものは下記の通りである。

- ④ 廃液関係試験（北見支場）
- イ）イトムカ水銀鉱業所、沈澱池内斜樋欠漬に伴う廃水
 - ロ）芝浦精糖KK廃液
 - ハ）糞尿汚水の流入による稚魚の被害について
- ⑤ 養魚盆の使用について（北見支場）
- ⑥ 電気網実用化試験（根室支場）
- ⑦ 鮭稚魚のマラカイドグリーンに対する抵抗力試験（千歳支場）
- ⑧ 鮭稚魚陸上輸送試験（千歳支場）
- ⑨ 未利用卵数の調査（天塩支場）
- ⑩ 卵径卵重量測定調査（天塩支場）

昭和34年⁷月10日
昭和34年⁷月20日

発行所 水産庁北海道さけ・ますふ化場
札幌市外中の島
印刷所 日栄舎印刷株式会社
札幌市菊水西町10丁目